京城日報

本紙定價 一部參錢 一ヶ月七拾五錢 ▲郵税一ヶ月前金貳拾五錢
廣告料金 五號十五字詰一行一圓五十錢 ▲特別二號七字詰同二圓 ▲二號九字詰同三圓
發行兼編輯人 奥田直[illegible]
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 編輯局 二六一番 營業局 二〇九番 振替貯金口座京城三〇〇番

八月二十七日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇米收用價格 ＝農商務省告示＝

東京大阪正米市場中米は九月五日より同二十日迄一石三十三圓以內、同九月二十一日より以後三十圓以內、東京大阪以外は之を標準として定む(二十六日午後八時東京發至急電報午前三時三十分京城着＝號外再錄)

◇司令部滿洲里著

陸軍省公表＝藤井枝隊司令部は廿三日滿洲里に到著し同枝隊主力は廿四日同地附近に到著せり(東京特電)

◇セ軍枝隊停車場占領

セミヨノフ枝隊は滿洲里西方八十四哩バンタイヒ驛を占領せり(哈爾賓電報)

◇內相首相訪問

水野內相は二十六日午前八時四十五分寺內首相を官邸に訪問騷擾事件に關する調査報告を爲し、尚之が善後策其他所管事項に就き長時間協議する所ありたり(東京特電)

◇學位授與式舉行

既報學位授與式は二十六日午前十時舉行されたり(東京特電)

◇鮮銀新株公募

今回倍額の四千萬圓に增資したる朝鮮銀行にては政府所有株に對し割當つ可き新株三萬株をプレミヤム附にて公募すべく大阪信託會社之を引受けプレミヤム價格一株二十圓以上にて公募の事となる可し(大阪特電)

◇名古屋立會中止

名古屋米穀取引所に於る定期米値段は東京大阪兩市場に比し七十錢乃至一圓方上値を示し市場不穩の虞あるに依り廿六日より同三十日迄臨時立會を休止することとなれり(名古屋電報)

◇軍司令官著馬

宇都宮軍司令官は小山、本野參謀古城副官を隨へ二十六日午後七時來馬せり(馬山特電)

◎米收用價格と鮮米 大勢低落は免れ難からん

正米收用價格決定の農商務省告示(別電參照)に對し某々有力方面の談を聞くに昨今東京大阪に於ける

▲正米市場 の中米價格は混沌なれど先づ石約四十圓見當にして之れに匹敵する現在の鮮米は京城に於て先づ三十五六圓所なるべし故に目下の相場を以て九月四日まで推移するものと假定せば京阪正米約七圓安となる勘定なるが由來正米四十圓を稱する如きは正當の相場と目するを得ず又政府も然りと認めて之を調節せんとする方針に付中米三十三圓以內の收用價格は正當の値頃と稱して可なるべく殊に九月上旬よりは新米の出廻りを見る時期にて相場幾分軟弱を告ぐる際にあり更に九月二十一日に至らば

▲新米の廻穀 愈々多きに付三十圓以內は何等穩當ならざる點なりと思はる而して政府が收用價格の告示をなす以上米價の平準を右價格に置くものと見て可なるに付京阪市場に於ては白米石三十七八圓所を現すに至るべき乎、偖鮮米の影響を如何と見るに昨今價格は漸次硬調を呈し居れど內地正米價格の收用決定と共に內地米價の低落は免れ難きに付當然鮮米も軟調を辿るべしと信ず唯京阪中米九月五日以降三十三圓以內と決定せば

▲鮮米の下鞘 は先づ三十圓所と見て可なる計算なるも果して此の推測通り鮮米の價格が下向くか若くば若干の逆相場を現出するかは疑問なれど要するに大勢低落に傾く事は何人も否み難き點なるべしと思はる

▼期米高値制限か ＝正米市場の呼値緩和＝

仁川米豆取引所社長飯田茂登雄氏は曰く今回農商務省の發表せる正米收用價格なるものを見るに東京大阪兩市場に於ける中米の最高價格を限定せるものなるも其の眞の目的は正米の價格といふよりも寧ろ期米に對する

▲高値の制限 と見るを至當と思惟す何となれば今日全國各取引所の標準米は恐く中米なるを以て今回の農商務省告示は正米市場には實際上何等直接の影響無く期米に於て直接其の反響あるべし政府は先づ期米の最高位を限定し以て自然的に正米市場の呼値を緩和せんとするの策に出たるものと察せらる併しながら果して政府豫期の如く正米相場が制限せられたる期米相場に追從緩和せらるゝや否やは多少の疑ひ無き能はず又收用價格を九月五日より二十日迄三十三圓以內、二十一日以後三十圓以內となしたるは其

▲主眼とする 所は九月二十一日以後の三十圓以內にあるべく而も現在の狀況に鑑み遂に突飛なる價格の制定困難なる事情あるに依り斯くなせるものならん然れども政府にして眞に米價を調節せんと欲せば中米に對してより寧ろ白米の最高相場を制定すべきものと信ず要するに正米收用價格制定は大したる效果は期待し難きも幾分の效果はあるならんと思はる(仁川電話)

◎西國態度强硬 潛艇被害倍償

最近薬班西牙電報は同國が獨逸潛水艇の爲既に蒙り又今後蒙るべき損害の賠償として獨逸商船を抑留すべく伯林政府に通牒を發せりと報じ來れるも電文簡にして其眞相を知り難きが西班牙は開戰以來獨艇の爲め擊沈せられたる船舶頗る多きに上れり而して獨逸は其內幾分のみは戰後に於て倍償する事となるべきも目下西國に於ては船腹の缺乏を來し居れる爲め豫て同國各港灣に開戰前逃入したる獨逸商船四十二隻十二萬五千六百十二噸あるを以て今回之れを沒收すべしとなしたるものなるべきが由來西國政府は開戰以來中立の態度を維持し來れるも國內には親獨、親英の兩派あり其の勢ひ殆ど伯仲の間にありしも親獨派は盛んに活躍し動もすれば獨逸側に有利なる傾向を生じ來れるも近時獨逸の戰勢漸次衰へ來れる西國は和蘭、丁抹、瑞典等の中立國の如く地勢上隣接し居らざるため直ちに獨逸の爲め報復的壓迫を蒙るの恐れなきにより叙上の如き强硬なる態度に出でしものなるべきかと

◎滿洲里(下) 發展の徑路

黑田甲子郎氏談

大連旅順に通ずる所謂東清鐵道南部支線が敷設さるゝに及んで寒村僻地であつた滿洲里及びボクラニチナヤは露支國境の重要驛となつて遂に露西亞は此の兩驛に宏大な設備を施したのである、卽ち機關庫を設け

▲兵營を置き などした爲めにスラブ人、支那人及び其他各國人種は群集して市街を形成したのである今迄山間の寒村僻地は忽ちにして大邑となり露支兩國の國境稅關所等も設けられ近時に於ては人口約二萬となつて東清鐵道附屬地中哈爾賓に次ぐの大市街となつたのである滿洲里が繁華になるにつれて

◎日露戰役後より漸次今日に至る迄に移住してゐる邦人も三百を算する市內には麥酒、石鹼、酒精等二三の製造所を始め種々の工場なども出來て大に盛況を呈してゐるが其生產額が比較的少い地方產出品としては蒙古の家畜、毛皮等があるのみで其他の需要品は恐く

▲鐵道に依て 輸入しつゝある其爲め哈爾賓に比して二三割高價である鐵道による輸出入貿易額は輸入が七八百萬留で其主なる品は酒精、茶、砂糖、木綿、毛絹織物、石油、寶、食料品、金屬製品などである、輸出額は二三百萬留で毛皮、肉類と粉類等である此外取引年額の百四五十萬留を下ることのない對蒙貿易がある、本邦品の輸入は年額十四五萬留で綿布絹物及び雜貨、醬油、砂糖などは皆一萬留以上の取引がある、こんなにして日を追うて繁榮する滿洲里も過激派の壓迫を受けた然しセミヨノフ軍に信賴してゐた住民は

▲容易に引揚 ぐべくもなかつたのであるが此のセミヨノフ軍は武運拙くして敗走の止む無きに至つたので俄に狼狽しはじめた住民は家財をも其儘に打捨て滿洲里を逃け出したのである其五六千の人々は海拉爾に向つて雲集して來たのである、海拉爾は邦人も僅に一二百を數ふる位の所にて一般人口も尠く從つて戶數も僅しかない此處で滿洲里よりの群集は住むに家なく喰ふに糧なく、セミヨノフ軍の復活、又は、チェック軍及び日本軍の來援を渇望期待してゐた次第である。今や正にホルワット、セミヨノフ、チェックとの交涉成りいよ／＼チェック軍の進擊も開始されたが滿洲里を去り

▲チタを中心 として集まつてゐる過激派軍及び獨軍は三四萬の勢力で三四臺の飛行機と六十餘門の機關砲を有してゐるのでチェックの單軍では到底チタ迄の進軍は覺束ない事で此後は日英米の援助如何に依つて其解決を見るであらう(東京支局)

◎王世子入京期

李王世子殿下には二十六日午後四時東京驛發御歸鮮の途に就かれたる旨其筋に入電ありたるが多分直行さるべきを以て二十八日午後九時十分南大門驛著入京さるべしと

◎定例長官會議開會

二十七日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き長谷川總督山縣政務總監始め各部局長官並に所屬官署各長官參集諸般政務に就き審議する處ありたり

◎鮮鐵運賃割引 救恤並に廉賣米

滿鐵京城管理局に於ては各地救濟會に巨額の寄附をなし細民を賑しつゝあるが今回細民救濟の一策として救恤又は廉價販賣の目的に供する穀類に對し左記の如く取扱ふことゝなしたり

一 別扱 大貨物各級

二 輸送區間 朝鮮線各驛所相互間

三 運賃(イ)救恤用のもの無賃(ロ)廉價販賣用のものは規定運賃の五割引

尙特別扱ひは本來朝鮮內各地住民の苦痛を低減せんが爲めに行はるゝものなるを以て其の性質上より考ふるも當該穀類は朝鮮內各地救濟會其他救恤を目的とする團體の荷受人と爲したる場合に限り適用さるゝものにして個別的のものは假令其目的救恤廉賣にありとするも適用されずと

◎積極か消極か 帝國の執るべき財政々策

片山鮮銀理事の談(上)

二十七日朝歸京せる鮮銀理事片山繁雄氏は曰く

▲民心緊張の必要 東京の各方面に就て聞いた情報並に今回發表された陸軍省の公報を見ると獨露の東漸は案外根深いものであつて時局の前途は誠に容易ならぬ、見様によつては帝國の興廢に關するやうな重大な場合と云へるが此際吾が人心の緊張を缺ぐ擧國一致して此の困難に善處しやうとする決心の缺けてゐる事は國家の深憂でないか、現に今回の米高に基づく騷動の如き人心の弛緩を事實の上に語るものであるまいか政府攻擊も平時ならばさして問題とするに足らぬが刻下の如き非常の場合徒らに內爭を事とするのは大いに誡めねばならぬ事と思ふ、殊に朝鮮は戰地に接壤してゐるし在住民の覺悟は一層緊張を必要とすると信ず

▲積極か消極か 物價騰貴の趨勢を抑止するため通貨縮少論は最近新聞雜誌に少からず現はれ又民間有力者の提唱せる者もある然し乍ら通貨縮少可否の問題は新興しつゝある帝國の產業政策を消極的整理的にするが至當なのか又は大に積極的に發展を計るがよいのであるかと云ふ事をまづ決めて解決せねばならぬ若し現在日銀兌換券七八億圓の發行が多きに過ぐるとせばその縮少を計る事は極めて容易である、乃ち日本銀行の公定利子をズツト高め更に各銀行の金利を高率にすれば其目的を直ちに達するのである、然し乍らその結果はどうなるか金利の引上は採算上生產事業に大打擊を與へ輸出爲替相場の引上による輸出貿易衰額の招來は火を睹るよりも明かである、而して不景氣は所在に工場の閉鎖を頻出し職を失つた多數勞働者の困苦は甚だしいものがあらう、或は夫等に原因し今回の米騷動以上の問題を惹起せぬとも限らぬ、予等を以て見れば斯る際に通貨を縮少し消極的の財政策を執るべしと云ふ如きは

▲國運の進展 を念とする者の言とは思はれぬのである、成程日本は戰爭以來貿易上の輸出超過十二億圓を得貿易外の儲船賃船軍需品供給等により約九億圓の收入乃ち合計二十一億圓を利得してゐる、消極的論者はこれだけの純收を今回の戰爭で獲得すればもう澤山である、乃で物價を低め財界の整理が必要だと云ふのかも知れぬが、戰後の形勢一つで日本の利得した二十億や三十億の金はいつフツ飛んで終ふかも分らぬ日露戰爭でさへ帝國は十五億の外債を募つたではないか、又米國と日本を比較するのは聊か當らぬけれども米國では貿易の出超のみで開戰以來去る五月までに百九十二億圓を示し日本の十四五億と云ふ大數字である、かゝる際帝國は大いに各方面に進展せねばならぬ、消極的の財政策を執つて折角贏ち得た吾が商權までも退かうとする如きは大なる禁物であると信ずる

▲物價と通貨 唯物價の騰貴が非常の勢ひを呈し國民生活の不安を甚だしくすると云ふことだが——に對しては增給等自から施すべき途もあり、米價などが突飛に高くなれば外國の例により最高價格を定むる如きも亦止むを得なからうと思ふ、然し乍ら近來物價の騰騰を全く通貨の膨脹にありとのみ斷ずるのは如何なものであるか、日本では未だ英國の如く證券の流通普からず、ために多くの取引に通貨を以てする風あり、英國財界の大を以てして其英蘭銀行の發行紙幣が五億餘圓——發行は八億を超ゆてゐるが營業に二三億の準備あり——に比し日本はその通貨の七億餘は大に過ぎるとなす如きは英國信用制度の進步を度外に置いた議論と言はざるを得ぬと思ふ要するに現在日本の通貨は外國爲替資金の振向け、財界の膨脹による資金の需要增加から起つたものであつて其の結果物價の或る程度までの騰貴を促してはゐるがそれが如何なる程度まで通貨關係外に物價を騰貴せしめてゐるかは問題であらう

◇對露援助機關の設立に就て◇ 第一は物資供給

臨時西伯利經濟援助委員會幹事 松岡洋右氏談

西伯利經濟援助委員會の成立に就き新たにその幹事となれる松岡洋右氏を訪ふ、曰く

西伯利亞經濟援助の理由は既に公表されたる如く露國西伯利亞に於ける露國人の窮狀に同情に堪へざるものがあるのでこれに對して具體的援助をしようといふにある或る一部では是を以て既に時機を逸せりといふ人もあるが決して時機は逸して居らぬ我政府に於ても夙に經濟

▲援助の急務 であるといふ事は充分認め又聯合與國に於ても同様の感を抱いてゐたのであるが何分にも秩序の紊亂其極に達してゐた折から容易に手を下す事が出來なかつたのである、出來能はざる事を知りつゝ聲を大にして徒らに叫ぶも愚の至りであるから務に其機會の來るを期待してゐた次第である、過般チェック援助の爲め帝國及び與國より軍隊を浦鹽斯德に派遣する事となつてから稍か秩序恢復の曙光を認め從つて經濟援助の手段を講ずる餘地を生じたることもに益々其必要を感ずるに至つたのである。右經濟援助の方策は西伯利亞方面に於ける貿易の復活

▲產業の恢復 等多々あるが差し當つての急務としては最も窮乏を告ぐる物資の供給である然し食糧品の如きは本邦の現狀に照して融通の出來るものに限るのであつて我が國民の生活に直接に影響を及ぼす樣な虞のない物品及び方法を撰んで其途を講ずる事は論を俟たない處であるが現在浦鹽斯德に陸揚してゐる本邦物品も少くないので當分は是を以て融通する事が出來ようと思ふ。以上援助の事項が尠くないので是等の事務を外務省の常務として取扱ふには餘に廣汎に亘り且つ此事務たるや官廳專門の事務といふよりも寧ろ實業界方面の協力に俟つべきもの多いといふ事を信じて政府では

▲廣く官民の 間から人材を簡拔して委員會を組織し又一方に於ては外務省で臨時職員を增置して專ら經濟援助の實を擧げようと努めてゐるのであるが、英國初め米國でも略同一の目的を以て施設する所がある樣な模樣であるから本事業の遂行上自然之等の施設とも相聯絡するに至るであらう單に經濟を援助するといへば露國民として或は不快を感ずるかも知れぬが是は援助といふより寧ろ露國現下の狀態に同情の餘り具體的に物資を供給して、露國民の自助的行爲を援助するのであつて戰前よりの交誼上、人道の德義上、東洋に於る日本の立場として、此の行爲はなさゞるべからざる事である、露國民が如何に窮してゐるとは云へ全然

▲他國の援助 を乞ふものでもあるまい、そこで原則としては極安價に然も優良の品物を供給するといふのである、或は時によりては損失をして迄も供給する事もあるだらう、然し是は原則ではない、此の際露國の窮狀の虛に乘じて奸商の出ぬとも限らぬので是等はどこまでも嚴重に取締らねばならぬ、所謂消極的に奸商を取締つて積極的に優良なる物品を供給するといふ事に努むる次第である(東京支局)

◎商船大連航路

大阪商船嘉義丸は過般來方面徵發のため缺航中なりしが本月廿八日大阪發より復舊し九月一日大連著同四日以後引續き臺中丸の定期航路を履行する旨京城管理局に通知ありたり

◎露貨暴落

東淸鐵道に於ては日露貨幣換算率を從來百圓に付五百四十留なりしが二十五日よりは更に之を五百七十留とする旨京城管理局に通知ありたりと

◎法政研究會證書授與式

市內永樂町二丁目の法政研究會にては來る三十一日天長節の佳節をトし第六回證書授與式を擧行すべく尙新學期は九月十一日より開始する由なるが入會希望者は至急申込まるべしと

□號外發行

我社は本日號外(前項再錄)を發行し朝鮮全道及び滿洲各要地に發送せり

人事消息

▲大橋咸南警務部長 二十七日午前內地より入京同日憲兵隊司令部に出頭兒島總監に著任の挨拶をなしたり
▲兒島滿市氏(清州憲兵分隊長) ▲什翔正彥氏(楊州同上) ▲加藤市志氏(龍仁同上) ▲稻岡靜太氏(長湍同上) ▲五十嵐登氏(金化同上) ▲田澤三郎氏(麟蹄同上) ▲澤田捷氏(扶餘同上) ▲有馬虎雄氏(鎭遠同上) ▲木下秀雄氏(文平同上)廿七日朝入京山本旅館へ
▲岡永彥四郎氏(新義州營林廠事務官) 二十七日朝入京南部へ
▲國府東拓土木課長 哈爾賓に出張中なりしが二十七日朝歸任

茶前酒後

◆拔かぬ太刀の功名も、遂に奏する事を得ざりしものと見ね、內地に於ては、愈々正米收用令の發布を見たり。もとより本令は、朝鮮には行はれざるも、朝鮮米界が其影響を蒙る事は、無論也。卽ち內地米價の下落が、引いて朝鮮米價の下落たるは、爭はれぬ次第なれば也。而して此の收用令が、如何なる形式に於て、施行せらるゝかを見て、而して後論ずるも、未だ遲しとはせざるべし。

◆米國にては、廢物利用獎勵の爲め貨物運搬自動車に、各種廢物を積載し、之を濫費防止展覽車と稱し繁華なる市街に運轉し、一般公衆の觀覽に供し居れり。其積載廢物は、食糧及び原料の二種にて、食糧は即ち臺所節約參考、原料は即ち工場及び製造會社に於ける、材料節約の參考たらしめんとするにあり。米國の廢物利用獎勵に熱心なる他外國の思ひ及ぶべくも非ず少々微臭きも、百聞は一見に如ず其實物教訓が、一般世人に多大の注意を拂はせつゝあるこは、然もあらん。注意喚起丈にても好果少からずとは、泊に何處でも試みて見たき事ならずや。

◆食料以外に米の使用を制限するも、亦米價調節の一方法たらずとせず。食料以外今日米の最も多く費消せらるゝは、造酒也。造酒を減亡せしむるは、酒呑の減退にあり。酒呑の減退は、在來酒に代ふるべき物の造出に存す。吾人は突飛なる禁酒論を云ふ者に非ず。酒不好の禁酒論などは、吾人の採らざる處也。

◆然らば米酒に代ふるべき飲料が、果して釀成し得られ得るやと云ふ問題に歸着すべし。吾人は今日の化學の力を以てせば、敢て難しとは思はざる也。

◆彼の強烈なる火酒を、無上の飲料とせしゲルマン人を見て、ビスマルクが、斯ては國民元氣の銷磨國民精神の頹廢の一大病根也と考へ、火酒の代りに麥酒を獎勵し、帝室麥酒釀造所迄も設立せる結果爲に獨逸人は漸次火酒を棄て麥酒に親しみ、遂には國酒として愛飮するに至り、火酒消用者の減退を見たり。

◆我國造酒の現狀は、作米の約三分の一は、皆酒料に供せらる今日識者は思ひを玆に致すべの要あらん。

朝鮮殖產銀行令第五十五條ニ依リ農工銀行ノ株主ノ權利ヲ失ヒタル者ノ住所、氏名、株券ノ番號等ハ大正七年八月二十八日ノ朝鮮總督府官報ニ公告セリ
大正七年八月二十八日
株式會社朝鮮殖產銀行設立委員長 山縣伊三郎

失權株賣却公告
朝鮮殖產銀行令第五十五條ニ依リ農工銀行ノ株主ノ權利ヲ失ヒタル株式左記ノ通當事務所ニ於テ入札ノ方法ヲ以テ賣却ス
大正七年八月二十八日
京城南大門通一丁目 株式會社朝鮮殖產銀行設立事務所
記
一 入札ハ九月三日午前十時トシ卽時開札ス
二 賣却株ノ入札ハ左記各號ノ區分ニ依ル
第一號 二十圓拂込株 五十株
第二號 二十圓拂込株 四十九株
第二號 十圓拂込株 二株
第三號第四號 十圓拂込株 百株宛
第五號 十圓拂込株 七十八株
第五號 五圓拂込株 四十四株
第六號ヨリ第九號ニ至ル 五圓拂込株 一百株宛
第十號 五圓拂込株 百二十四株
三 開札ノ上豫定價格ニ達セサルトキハ直ニ再度ノ入札ニ付ス
四 入札保證金ハ各自入札價額ノ十分ノ一以上トス
五 落札代金ハ九月四日限リ拂込ヲ爲シ朝鮮殖產銀行ノ株式引當證ヲ受クルコト
六 落札者ノ入札保證金ハ之ヲ契約保證金ニ充テ落札者カ契約ヲ取消シ又ハ前項ノ期日迄ニ代金ノ拂込ヲ爲サヽルトキハ之ヲ沒收ス
七 落札者カ契約ヲ履行セサルトキハ次札者ヲ以テ落札者ト定ム

朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生 普成商業學校講師 西村眞太郎著
日鮮會話精通
袖珍總クロース頒美本 ◎七百餘頁◎ 定價一圓三十錢
凡そ自己の知らむと欲する朝鮮語は如何なる言語と雖も悉く本書を繙きて知る事を得べし
諺文の素讀を學修し得たる人士は速かに本書を購求せられむ事を勸む
眞に本書は萬般の會話例を網羅せる一大辭典たり。語數の豐富、譯方の正確、說明の親切。會話の實際的なるは本書の特色なり速かに一書を購求して熟讀あれ
發行 京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部
取次 京城本町一丁目 大阪屋號 京城本町二丁目 嚴松堂

＝騷擾後の期米＝
狂瀾怒濤地を捲いて市場休會せるや久し其間未曾有の米騷擾に次いで正米の大崩落あり國民生活の威脅者たる買方が懍然色を失へるに獨り本會は何等微動だに感ぜず是れ國民多數の脊を顧慮せる處也＝本會は發會以來四年に換算し四十六割乃至二百割に相當せる配當をなせり＝收用令、天候適順、新穀出廻等は皆低落誘起の原因也此際第六回を組織し買方にとゞめを刺すは亦快ならずや敢て諸士の參加を俟つ
■加入金 一口卅圓 ■申込期間 九月十二日迄
第六回 期米賣同氣會
日本信託商會證券部
▲會則進呈▼
大阪市北區堂島濱通一丁目二二 電話北長九七二 振替大阪四〇五六九

優等淸酒

福岡縣三井郡山川村 醸造元 富安本店
京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店 電話四一〇三九番 振替口座四三二九番
併賣御斷り

大正七年七月一日改正現行
[illegible]

◎敵の死傷多大

我士氣倍々旺盛也

◇—我負傷緒方中尉以下百四十名

二十六日野戰第十二師團長より留守師團長に達したる電報に曰く師團は二十三日二十四日の兩日に亘りドウホフスコエ附近にて約八千の敵と交戰の後之を擊破し追擊せり此戰鬪に於る戰死者許斐大尉負傷緒方中尉瓜生中尉那詞準尉步兵〇〇〇〇聯隊遠山中尉三木少尉の外特務曹長以下約百四十名の死傷者あり敵の死傷は多大なるも未詳なり我士氣倍々旺盛なり（陸軍省門司特電）

◎敵は非常の精鋭なる爲め勢ひ大激戰となりしか

▽……陸軍參謀の談

クラエフスクに我軍到達につきて陸軍參謀は曰く數日來の戰狀より察するに敵は非常の精鋭にて勢ひ大激戰となり廿四日頃迄の戰死傷百餘名に達し敵の被害は殆ど其倍數に及ぶべし（陸軍省東京特電）

◎最初の名譽の戰死者 許斐大尉の事

▽結婚後僅か一箇月

慎ましやかに語る『昨夜迄も追逐の品物の用意をして居ましたのに今日はや戰死の便りを受く妾は夢と思ふより外に思ひやうがありませぬ、去る七月二日に結婚して十五日からはもう何か大事の命令に接したやうで忙しう暮して顏を篤くと見る暇もありませずさうして九日出征したものですから

▽略歷

老父母と兄と

浦鹽派遣軍中の最初の名譽の戰死者たる許斐璋大尉は福岡縣嘉穗郡頴田村字勢田の人、當年三十二歲明治三十八年十二月一日士官學校入學四十一年臨時韓國派遣隊補充の爲朝鮮に渡り各地の守備に任ず四十三年中尉に昇進大正四年十二月臺灣基隆步兵第二聯隊附に補せられ同六年小倉步兵第十四聯隊附仰付らる動員と共に第二大隊第五中隊長に補せられ去九日征途に上る鄕里には安川の炭坑に奉職する家兄尚氏ありて七十一歲の老父及び老齡の繼母を養ひ共に頗る健在なりといふ大尉は去る七月二日遠賀郡中間高野梅太郎氏の長女もと子と結婚しもと子は大尉の出征後小倉市魚町近藤雜貨店裏の留守宅に在り

▽夫の顏も宜く覺に無い

もと子を訪ふ
＝さいふ十六歲の未亡人＝

許斐大尉未亡人もと子（こ）を廿五日魚町の留守宅に訪ふ貳人の妻のならひこはいへ去る七月二日大尉と結婚して新婚の夢醒め遣らぬ今月九日の出陣を見送りたるを永劫の別れとする夫人の胸中如何許ぞ

▲悲痛の極みと謂ふべきなり招ぜられて階上に通れば既に正面の床に大尉の寫眞を安置し香を點じて冥福を祈るに餘念なし淚に瞳上がれる眼を押し隱しつ

▲夫とはいひ乍ら 妾は實は顏もよく覺えて居ない位です無口の方ではありましたが出征に際して記念の寫眞を撮つて置いて下さいとお願ひしたら何ッ遂者な證を持つて歸るから寫眞なんかが

戰死せる許斐大尉

必要がない、お前も北日を待つて居つて吳れと申し又丁度知邊の婦人が來合はせて居まして結婚後間がなくて奧樣に氣の毒とか何とかいふ事を言はれたら

▲太功記の十次郎の妻の初菊より北海道に行いた例の間宮林藏の妻より幸福なものだ一は祝言の杯をした許りで戰死し一は態々北海道に尋ねて行つた晩戰死したと申まして妾も無論此邊の覺悟はして居ましたが現在斯樣になつて見ると淚の方が先に出てつい皆樣にも不咲の所をお目に掛ます出征後便りは二度ありました最初の方には日出生臺の

▲演習にても行く際な氣で內は出たが小倉や門司で盛んな歡送を受け船に乘つてから濃霧や風浪に閉されて部下の兵卒が船暈を催し飯も喰へないといふ狀態を見るに及んであゝ尋常一樣の行軍でないといふ感慨に打たれた然し幸ひに護衛はあつたが常陸丸のやうな悲壯な最後も遂げず又已許りは船暈にも掛らなくて無事浦鹽に上陸する事が出來た上陸後は

▲浦鹽から一里許り離れた村落の守備に任じて居る物資が極端に缺乏して居て我々の投つた煙草の喫殼を露西亞の子供が拾つて喫ふとか飲料水がなくて困つて居るとかいふ事が書いてあり二度目の便りには其後無事で暮して居るか出立に際して豪う心配や手數を掛けて草臥が出ては居ないかと案じて居る手紙は月四回樣準で出せる事になつた然し四回だから知友近親には

▲思ふやうに廻らない宜敷く傳へよとありました氣象が氣象だつたから戰死する迄には乾度花々しい働きをして居るだらうと是れ許り信じて居ます（門司）

◎王世子御著京

廿八日午後九時南大門驛著

李王世子殿下は二十八日午後九時十分南大門着列車にて御著京の筈なるが其の日程は御滯京四日間にて九月二日午前八時三十分京城驛發東京に向はせらる由隨員としては高事務官金武官小山典醫殿賀作外屬官及び雇員六名にて京城よりは德壽宮御使として閔李王職長官昌德宮御使として贊侍趙末鎔氏等釜山まで出迎へ申上ぐ可く兩氏は二十七日午後七時五十分南大門驛を發し貴族親戚側よりも尹澤榮侯尹德榮子趙東潤男閔泳璘氏等釜山まで御出迎へ申上ぐべし

◎李王世子殿下 大阪御通過

二十七日午前

李太王殿下御病氣御見舞と其御誕辰御祝ひの爲御歸鮮の李王世子殿下は二十七日午前六時大阪通過相成たり（大阪特電）

◎二十六日は一萬六千人に三百十四石を廉賣す

廿一日後の各廉賣所の混雜

京城救濟會に於ける二十六日扱ひ廉賣石高を聞くに總石高三百十四石五斗二升を示し人員一萬六千五百三十九名を示せり尚此の他に外國米六石一斗二升人員三百六名あり右の內東拓米の分は石拔きに在りて百八十三石六斗二升石不拔きに在りて二十六石三斗二升計二百九石九斗二升にして更に之れを廉賣初日よりの累計に就いて見るに石拔き米五百六十五石八斗四升石不拔き米一千七百二石七斗七升計二千二百六十八石六斗一升に上り人員十一萬六千六百六十一名の多數を示せり外米に在つては累計百九十一石六斗四升人員九千五百八十二名を算せり而して數日來の廉賣石數に比し當日の扱ひ石高が著るしく增加の傾向を示せるは全く廉賣米の賣行旺盛なるを示すものにして殊に二十一日官廳俸給日以後に於て各廉賣所とも混雜したる有樣に在りと

▲廉賣價格不變

廉賣券も同じ

京城龍山九箇所の廉賣所に於ける價格は市中小賣り相場の再び昂騰して四十錢五厘を唱ふるに至りたるにも拘らず救濟會にては依然石拔き米一升二十八錢石不拔米一升二十四錢外國米十六錢を以つて供給し居れり而して其の廉賣券の如きも從前の通りにして石拔米一升券石不拔米一升券二升券外國米二升券の五種を發賣し居れり

▲五升券復活其他に就いて

評議員會開催

二十七日午前中より救濟會理事者側に於ては各評議員其他關係者一同を府尹室に招致各廉賣所の位置を變更すべきや廉賣米の配給狀態を變じて外米を增加し外に粟の如きを廉賣に附すべきや、五升券を復活せしむべきや其他の要件に關し種々凝議する所ありたり

▲施米も大繁昌

京城救濟會の赤貧者救助調を見るに二十六日迄の累計米粟を施興したる石高內鮮人を通じて米二十三石八斗六升粟二十三石八斗六升に達し施興戶數五百五十戶人員一千四百七十八名を算せり

◎僞劍客の下宿屋荒し

逃げ出した蒲團の中から日本刀

福岡縣若松市藤の木生れの無職牛島秋吉稔（三）は此の程入京し九州私立明治專門學校の劍道囑託教師なりと自稱して市內某劍客の家に寄食せしも追ひ出されしより七月三日義州通一丁目下宿屋大肥貞市方に泊り込み鄕里から金を送つて來るやうに吹聽し宿料十九圓に嵩みたる後踏み倒して逃亡し次は南大門通りの渡邊旅館に到り最近京城日報社に就職するとことなり居るより下宿さし吳れと又も滯在して十九圓餘の宿料滯りたるが催促の後告訴されて居耐まらずなり前同樣逃亡して南山の松林等に露宿して市內徘徊中を本町警察署に逮捕されしが同人が渡邊旅館にて寢したる蒲團の中より水も滴るばかりの日本刀一挺を發見して本町署に屆出たり

◎九十一歲の老翁 愈々南米へ

移住の爲め出發

九十一歲を以て北海道天鹽在より一族郎黨六名を提げ此度南米に移住する小笠原吉次翁は二十七日朝六時廿分大阪通過の豫定也（大阪特電）

◎大雷雨に會て墜落

中嶋大尉の飛行機製作所で岡大尉數箇所に負傷す

群馬縣新田郡尾島町中島大尉の飛行機製作所にて落成したるを以て二十五日所澤航空隊より岡大尉來著し諸般準備完了の上岡大尉同機を操縱して昇騰試驗を行ひしに機は豫期以上の好成績を擧げ午後四時十五分岡大尉は再び機上の人となり尾島町の上空を五百米突の高度を保ちつゝ快翔中突如一陣の強風と共に大雷雨起りたれば大尉は強く着陸せんと飛行場の上空に歸航三千米突の高度を保てる際俄然機體に故障を生じ急轉墜落して機體は粉碎し大尉は地上に投出され數箇所に負傷したるも幸ひに急所を外れたるを以て生命には別條なかるべし（前橋特電）

前橋にて墜落せる岡大尉

◎騷擾事件の檢擧者總數 五千名

起訴は二千名

今日迄の騷擾事件に關し其筋に檢擧せられたる者總數五千名に達したるが其の後取調の結果說諭の上放還せられたるもの多數あり各檢事局に於て公判に附し又は豫審に附せられたる者の確定數は未だ司法省に達せざるも寥々少き模樣なりと傳へらる其の內東京百四十名福岡長崎各十名、神戶大阪名古屋仙臺各三百名位、廣島新潟各五十名にして起訴されし者の總數一千名內外ならんと（東京特電）

◎東京騷擾事件

拘引者二百五十名

東京市に於ける騷擾事件に關し警視廳より裁判所に送られ取調の結果起訴せられ豫審に附せられし者二百四十名あり主として勞働者にて其內責附出獄となりし者七十名ありと（東京特電）

◎木蘭か文姬か 二つの畫

の內ドチラか文展に出品する
◆泰山を見て歸つた關雪畫伯の談

北京、奉天、濟南、泰山、曲阜、彰德等各地旅行中なりし日本畫家橋本關雪畫伯は歸途京城に立寄り二十四日出發歸途せるが氏の談に『毎夏に旅行し畫題を求めてゐますが素人の見る眼と吾れ〳〵の見る目とは違ひこゝは名所だからと聞いて出掛けて見ても畫題にもならぬ所もあり世間のいふ◇名所は必ずしも名所でないことが度々あり昨年も盧山の風景がいゝからと云ふので出掛けて見ましたが何處がいゝのかカラ駄目でこれには失敗しました今度行て見た處で一番いゝと思つたのは泰山で之は豫期した以上に美しい何處となく雄大な景色であの直立した山に樹木がかゝり捨難き風情のある樓門が聳ね立つてる逸趣に絕好の畫題でスケッチに入れました◇寫生は大分集まりましたが何れも一纏めにして見る積りです景色を見て之を繪に描くには其氣分の拔けぬ內にかゝらぬと何だか氣乘がせず出來た作品もその氣分で描いたのと氣分が拔けて描いたものとはその出來榮が違いますので私はいつも景色を見てそのいゝと思つた氣分の拔ぬ內筆を走らしてゐますそれでないとホントの繪は出來ません◇本秋文展へ出す作品は木蘭が親に代り戰場に臨む所の圖で馬上の木蘭を寫して見る積りです一體支那の畫は私が以前から研究し又古畫により工夫もしたものですが今日實際支那に行き馬を見ると以前研究した所より幾分進化した點があるやうです◇文姬が漢に歸る所を書き之も文展に出さうと思つてゐますが木蘭にするか文姬にするか未だ決定しません、この二つの內から選定する積りにしてゐます、文姬の方には駱駝を書く爲今回北京に於て駱駝が荷を負ふて行く模樣を調べて置きましたが動物園で見た駱駝とは大分異なつてゐます◇まアこの二つの繪から選び出品しやうと思つてゐますが大きさは兩方とも屏風一雙ものです

◎京城には在米多し

昨日より本日にかけて市中の各精米所に就き在米數調査

京城の米價は一時下り向であつたが昨今又も上り値になつて來たので小賣り商店などでは品薄の形となり一般需給關係上の白米の不足を來す處があつてはならぬといふ所から二十六日午後から二十七日の朝にかけて官憲の或筋では京城府內の各精米所、市場米問屋の悉くに就て在米の數量を調査して見た其結果正米は未だ充分の餘裕があるのみならず其供給口は幾等もあるもので數量の點には何等憂慮すべきことなきを確めたるが今前途の米價だけは豫想し難い問題であると某官憲は語つてゐた

◎富山縣又復不穩

高岡市民米買占めを呪ふ

頃日來大阪及び東京方面より富山縣在米を目當てに買付けに入込み來る者頻々たるより在米不足の聲盛に起り正米は日々昂騰して二十六日に至り白米小賣一升四十二三錢となり騷擾當時に於ける高値を破るに至りし之が爲め人心再び險惡となり二十六日高岡の有力なる仲買人に對し各店毎に『米が又復高くなつたのは仲買人が買占をするからだ今夜石油を御見舞申す』との書面を投込める者あり警察署では嚴重警戒中なり（高岡特電）

緩衝機

（投書歡迎）

救濟會へ

中川生

◆袋に輸出超過—商工業界一般の好況—成金の輩出—笑ふ可き豪奢の競爭を記事で賑はつて居た新聞紙面が忽ち窮民—一揆—と云ふ忌はしい暗憺たる色に塗り更へられやうとは何と云ふ慘めな皮肉であらう。

◆それは兎も角非貨は常に貧い敎訓である。今や富人は貧人にならなければならなかつた正當の待遇を與へられた、公共の救濟會や自治團は施すべき最も適切な道の仕事を與へられた。

◆歐米のそれに比して貧富の差が左程激しくない我國に於て細民の窮乏が斯くも遠かに重過ぎた愁ふべき現象から美しい社會が如何にせば新生するかと謂ふ問題が期せずして氣付かれたであらう

◆今、各所に行はれて居る美擧が心からの同情と愛の發現であるとすれば醵金、廉賣、物資調査は永久不斷に救濟會の最も相應しい社會事業として生長しなければならぬ。只一時的として忘れられてはならぬ

◆何となれば物價騰貴は所謂自然の趨勢であり貧富の差と經濟界の平調は益々希望から背いて危險性を帶びて來た。窮乏は常に悲慘に迫り義捐と同情と愛との仲立が絕ず必用となるからである

◆茲に廉賣と謂ふは素より白米のみを指すのではない

人糞施肥について

衛生課長

▲貴紙に市街地及市街近接地に於ける家庭菜園に對する人糞施肥についての取締を要望せられてあつたが、それは無理ならぬ事だされ人共に之を禁止するのであるが、一方から見れば空地の利用、家庭の趣味、實益といふ上から家庭菜園について奬勵すべき性質の物ではあり、各部內の事とすれば法律上から一途にも取締るといふ事は困難なのである

▲然し市街地に於ける肥料なる人糞施肥の如きは各自に於て充分慎むべき性質のもので、殊に傳染病時に於ける糞便の取扱が、萬一云ふが如くであるならば、其臭氣は兎に角病菌の發生、蠅の傳播等それは恐ろしい內容を持つものであるから、當局の活動に先だつて先此際大に猛省して貰ひたいのである

美人

紅天狗

▲醜き者よ、汝の名は女なり美しきものよ、汝の名も亦女なり。女程美しいものはあるまい。

▲鬼も十八蛇も二十といふが十七八の女と來たら全く以て美しいものになつて來る。豐饒な肉、この頃の夕方背後から見ると一層引立つて來る。然し之等は唯美しう感ずるだけのもので、町際に前へ廻つて見たら醜女もゐるであらう

▲然るに、その人間の醜いのも一樣に美しいと言はれる時が一度ある。外ではない。彼女等が自殺した時がその時期である。

▲『礫死美人』『水死美人』と何でも死にさへすれば美人と何處の新聞も書き立てる。美人は美女と言ふ意味で、男の死んだ場合には美人とはしないで矢張り男とブツ切ら棒に書いてある。かう見ると變死した女は皆美人と奉られるのである。世の醜女君共大いに安心して可なり矣だ

▲これも普通の壽命が來て死んだ分は音沙汰ないから美人にもなれない。如何しても變死しなければ美人の一要件が缺如する譯になる。世の美人たらんと欲する者よ、須らく自殺すべし。鐵砲腹可なり、首縊り可なり。然らば爾等は『鐵砲腹美人』『縊死美人』として爾等の冥福は世の人々により永く弔はれむアーメン

▲投稿者へ 長きものは取らず、簡潔なるものを歡迎す

◎白米卸石に一圓騰貴

小賣米は其儘

京城に於ける白米相場は軍用米の買附に依り日を追うて騰貴し遂に四十錢五厘となりたる事は既報の如くなるが二十七日に至り玄米三十五圓に騰貴したるを以て米商は同日會合し値上に就て協議したるが中には白米卸値二圓乃至一圓五十錢說を唱ふるものありしも時節柄急激なる値上は考へものなりとて一圓値上に決し小賣値は現狀を維持すべしと

◎奧地取引屆出

晉州署の告知

晉州郡內にて米穀を奧地に於て取引を爲す場合は其旨晉州警察署に屆出づ可しと告知せり（晉州特電）

◎米買占者起訴

晉州に於いて米の買占を爲せる晉州の奸商大西某西太市郎は保安規則に因り起訴されたり（晉州特電）

◎米屋威し處罰

二十二日午後十時頃木浦の朝鮮人米屋に至り強談をなしたる同地北橋洞居住の工夫金明水、同曹文述の兩名は木浦署にて各拘留十五日の即決處分となれり

京城旭町一丁目一三〇
卜居　加藤房藏

◎小舟五隻流失

江原

江原道洪川郡南面龍水里洪川江岸に繫留中なりし朝鮮形の小舟五隻は去十六日の洪水にて悉く流失せしが內二隻には薪を滿載しあり目下行方搜索中なるも不明なるが損害約五百四十圓なりと

◎買煽る曲者

忠北堤川

市場にては十八日の市日に午前中は特等白米一升三十錢なりしに午後に至り俄に三十三錢に上騰せしより堤川署にて取調べしに高陽郡蠶島の米商姜大弘が今春堤川在郡中の東拓糧千四百石を買ひ受け之れが放賣の爲め堤川に赴き自己の傭人をして同日故意に市價より一石二圓高にて買煽らしめ以て相場に變動を起させたること判明したるより大弘を召喚の上嚴戒したり

◎不二興業は送らず

昨日夕刊所報『仁川から內地へ米がドシ〳〵出される』の記事中不二興業は不二商業の誤植に付不二興業の爲め訂正す

◇各地の白米

＝廿七日小賣値段電報＝

▲群山●一等白米一升四十一錢
▲全州●變動無し前日同値
▲訂正●二十七日朝刊『賢尾』の記事中『受けたる日當がない時』は『ある時』の誤植に付訂正す

◎仁川救濟會 其後の寄附者

[illegible]は鮮米三[illegible]十九石四斗、外米三百四十五石四斗二升、麥五石二斗六升、粟四十七石七斗五升にして前[illegible]

非▲仲居お初▲おたか▲おみよ 國▲お秋▲お駒▲二圓宛藝妓▲薬吉▲政助▲お六▲榮丸▲政榮▲吉竹▲政吉▲吉彌▲小政▲政 ▲百圓共會社仁川支店▲二圓[illegible]

[illegible]事珍、東棠金丑于乘り午前八時十分頃草梁驛鐵道俱樂部上Sし消火機試演は都合に依中止せり

◎御旅館石造殿

[illegible]

一等（十四名）小林一郎、小川德松、中村與賢、鈴木庄作、瀧川清之助、岡田德郎 外八名
二等（五十八名）阪本茂雄、山口發太郎、南郷庄作、文野家平、同さん、[illegible]
鶴丸半次、岩元閑雄、西島銀次、井上太平、同けい、同三正、網戶得哉、中野たけ、同修一、同もと、同まさ、[illegible]
二等（三十七名）齋藤しげ、赤塚直衛、和田清太郎、森榮一、原野九助、松田貞三、寺崎一、永濱平藏、遠山とく、諸田和美、上原國二郎、野上登六、上本梅子、木三本こせ、金子夢二、仁坂梅、淺井[illegible]

天氣 曇
（二十七日午後六時より二十八日午後六時迄）
▲京城測候所

八月二十八日 舊七月二十二日
◎日出 五時五十九分
◎日沒 七時十分
滿潮 仁川 午前九時二十四分 午後九時五十六分
釜山 午前[illegible] 午後十二時三十九分

美乳の力

夏の日光は美容の大敵！

色黑くなる時は今！
日焦する時は今！
一滴で…これを防ぐ

御用心遊ばせ色黑くなる時は今です御注意遊ばせ日焦する時は今です、さいつても必ずしも御心配になる事はありません日本に初めて出來た評判の美乳を常用してゐらつしやれば美容の大敵たる夏の日光を受けましても例へば海水浴にお入來になりましても其生地から色を白くする力、皮膚を美しくする力は、兎く夏の日光の紫外線を擊退いたしまして日焦を完全に防ぐことが出來ますそれですから近來は如何なる階級如何なる御年齡の婦人でも必ず美乳をお塗けです……

本舗 大阪白井本店 矢野芳香園

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）
電話 一八番 二六〇番
酒井婦人病院
院長 酒井一郎

藥種賣藥卸商

醫化學諸器械

Ⓚ
仁川本町 北島藥店
京城本町 永樂町角 北島藥店京城支店
電話三三四・振替京城六七番
電話七六一番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有

株式會社百三十銀行京城支店
京城本町壹丁目
頭取 安田善三郎
資本金壹千萬圓
電話 五八番 一九四番
振替貯金 京城 一一三番

內科 呼吸器病 腸胃病
小兒科 婦人病
京城若草町大通り
今村醫院
電話 一八三二番

[illegible]…石七斗八升、麥五斗一升、外[illegible]米三十五石七斗四升、粟三石四斗…升にして廿五日迄の總販賣石數

[illegible]百圓[illegible]太郎▲一百圓今田俊三▲[illegible]西川久吉▲二十圓榮亭▲三十圓榮亭藝妓仲居中へ一圓（二十五錢宛）板場塚本▲帳場岩[illegible]

[illegible]代じ二十七日正午[illegible]萬四千六百五十圓

◎電車に轢かれて死す 東萊發[illegible]涼裝飾電車九號に二十五日運轉手[illegible]らる[illegible]知らしめしを以て兩名とも引致せ[illegible]

◎消火機試驗中止 廿八日午後市[illegible]

◎連絡船上陸客 二十三日午前入港高麗丸上陸一二等客[illegible]遊ばさる由[illegible]

武男、[illegible]吉田ぜつ、中川よし、[illegible]玉藏、[illegible]一郎、坂部[illegible]太郎、[illegible]

三等（九名）有馬虎雄、同ふく、岩田保太郎、同銀藏、外人五名

廿四日午後釜山入港[illegible]丸一二等客[illegible]秀子、石井由松、大岩喜一、松宮宇七、中川吉松、武川武 三等（百六十二名）

[illegible]報 京城測候所 前日最高溫度 八十三度三分 [illegible]

案じらるゝ五十年後の米

樂觀の理由種々

東京農科大學長農學博士 古在由直氏談

米作は今日では段々改良されて年々の產額平均約五千三百萬石で

◇十年前に比較◇

すると九百萬石ほど殖ゑたことになる、これは勿論統計から出た數字で必ずしも眞相を語つてゐない事實もあるが品種の改良や耕地整理による土地の改良及び耕地の擴張肥料の使用栽培上の改良等によつて收穫が著るしく增加したことは事實である、それで今日では凶作の步合を除き平年作には內地產の米と約六十萬石の臺灣移入米百萬石乃至二百萬石の朝鮮移入米とを以て大體

◇國民の需用を◇

充たすことが出來る例の外米も大正四年から昨年までは每年平均約四十萬石も輸入されてゐるが其代り日本米も每年平均六十四五萬石輸出されてゐる、現在は右の樣な狀況にあるが每年人口六七十萬づつ增加する日本の將來に向つて米の增加がこれに伴なふや否やが問題である米の消費は重に食糧であるが其一部は酒や菓子の製造にも使はれる

◇酒に三百萬石◇

菓子其他に約百萬石、然う云ふものも入れて米の一年の消費量は先づ一人一石と云ふ勘定になる夫であるから米の生產が年々六七十萬石以上增加しなければ追ひつかぬが各方面の努力によつて其處まで行けるかどうかと云ふに現在の耕作面積だけで學術の應用と實際の努力によつて今後五十年間に四割增加して七千萬石となり朝鮮の農業はまだ〳〵幼稚であるから五割や六割の增加をするのは困難でないから

◇朝鮮に於ける◇

人口增加も考へに入れて四百萬石位內地に移入することは誠に容易である、同じ理由で臺灣から二百萬石位入れられる、これを合計すると、七千六百萬石となる、現在の耕地面積でこれだけの供給が出來る、之に加ふるに內地及び領土地の開拓さるべき土地から生產するものは信ずるに足る計算によつて千六百萬石となる、で五十年後には九千二百萬石となる即ち人口九千二百萬を養ふに足るが現在の

◇人口增加率で◇

即ち千人に付いて十三人と云ふ割合で進めば五十年後には九千二百萬人でなくて一億以上になるから幾分か足らぬと云ふことにはなるが米貯藏の改良により蟲害其の他の原因による米の損失を少くすることによつても實際國民の口に入る米の量を多くすることが出來るし不幸にして人口增加の割合は文化の進步に反して低落する傾向がある樣だからさうすれば現在の科學進步の程度を以てしても

◇何うか斯うか◇

將來の五十年間は日本の國民は內地及び現在の領土より生產の增加さるべき米によつて養はれ得るといふ事になる（東京）

◎得意か失意か

奉天の張督軍

奉天省城の留守居役を預かつて居る第五十四旅長張作相は各軍隊や諸機關に向かひ二十五日督軍張作霖の歸奉すべき旨を告示した聞くが如ければ張督軍の上京は何等初志を遂した者なきが如く或は失意の歸奉ではあるまいかと揣摩されつゝある併し今度の上京に依り

◆東省總籌備處◆

といふ東三省巡閱使の下拵へをした事は張督に取必ず希望の一端を滿たしたといふ事が出來よう、此の長い間張督は天津に居つて如何なる事を畫策したか竊に南下したと傳へられた第廿七師長孫烈臣も依然として今尙ほ天津にあり張作霖と何事か謀りつゝあるといふ又重任を擔うて南下すべしと報ぜられた曹錕も亦南下せず張懷芝と雖も南下する意志はないらしい寧ら

◆主戰主義主張者◆

と目された張督が天津に向かつて企畫した計謀が何であつたか窺張り判斷する事は出來ない前より評判であつた張作霖對徐樹錚不和問題の如きも曖昧なる情報をのみ發らし其眞相を知る事が出來なかつたが橋參謀長、丁軍機局長の罷免から推せば何だか不和である事を的確に證據立てた樣に思ふ昨日の北京電報に據れば

◆張徐關係斷絕◆

し張督は南方主戰の態度を改變し直ちに征南軍を引上ぐべく着手したといふこれ等の點から推しても對徐及び對南問題なるものが漸次色彩を鮮明にし合理的に歸納し得る因なる情報らしく聞ゆる從來世人は張督軍を目して對南主戰主義者の如く目して居るが事實は決してさうでない奉天軍南方派兵の目的たるや南方討伐といふよりは寧ろ日本より購入した

◆軍器押收事件◆

の辯解に外ならなかつたのである徐樹錚が突然來奉し張督を說服し軍器押收を敢行せしめたのは其新軍器を以て南方討伐の用に供せんとする意志から出たのではなく寧ろ總統が購入新軍器を以て四師師團の軍兵を編成し以て天下を望まんとする意圖を看取したから段派が不利なるを見越し張督を手先に使つて仕事をさせた迄の事である而して馮總統の抱懷せる計畫の裏を缺いたのである其當時

◆段派內閣出現◆

を云爲されたのも其間の消息を語るものであつて段祺瑞が參戰督辦處にあつて聯合與國に加入し外部から同情を得た所以であつて張督の如きは利用されたのか利用したのか初めから戰爭する意志はなかつたのであるから今日の奉天軍湖南引揚げの如きは豫定の行動であると云ひ得る今日に於て若し曹錕が南下しなければ政府の討南計畫は全く潰解された譯になる

◆最近長江四督軍◆

の講和提議は將來政府を左右し得る新傾向を現し張督の南派軍の處遇の如きも如何にすべきや等頗る興味ある問題である解散機宜を得ざれば又しても騷擾の源である張作霖は事實上に於ては今日に見ねては何物も得ないが今回の上京に據り名實共に東三省の實權を握り得る楷梯であつたと云ふ事が出來る（奉天）

◎太郎に飛ばんとする 鳥人出世物語（一）

立志傳中の人

活動寫眞を見て奮起す 十何年前は金物屋の一小僧

今秋の慶北共進會に際し大邱の上空に輕快なる飛行振を見せんとするスペート社所屬の民間飛行家伊藤音次郎氏とは一體何んな人だらうかとは近く氏に接せむとする誰もが先づ知らんとする所であらうで氏の爲人に就て少しく記して見よう、氏は十八歲の時迄

◇商家の一小僧で

豆々しく働いてゐたのである、時は明治四十一年の秋恰も新嘗祭の夜、當時氏が年期奉公先なる大阪安堂寺町の佐渡島銅鐵商店から一夕の暇を貰つて道頓堀の朝日座に活動寫眞を見に行つたが其時映畫の面に現れた飛行機を見て氏は非常なる好奇心に打たれたのである、其の時の印象は軈て今日

◇千葉縣稻毛海岸

に於て助手五名と見學生五名を指導しつゝ、飛行機の製作に從事し傍ら一名の見習飛行家を養成し隱然民間飛行界の權威として一方に新を唱ふるの動機となつたのである當時氏の眼に止まつた映畫上の飛行機は現在の如な完全なものではなく十六馬力の發動機を附してレールの上から飛揚するライトのグライディングマシーンであつた、氏は

◇此の怪物の如な

滑翔機を映畫の上に眺めて如何にも新奇な面白いものには違ひないが單に特定の場所から飛揚するだけでは甚だ物足らぬ何とかして彼の空飛ぶ鳥の如に自由自在に飛べぬものだらうかと小供心にも殘念で堪まらなかつたので爾來此事ばかりが腦裡に印して店の用務も殆んど手に付かぬ有樣であつた、翌けて明治四十二年

◇政府も飛行事業

の急務を悟り始めて軍用氣球研究會が設立され、一方では海軍大技士奈良原工學士が民間に下つて同じく飛行事業の爲めに奮鬪することいふことが當時の新聞紙上に現はれたので之を見た氏はもう矢も楯も堪まらず直接遙々奈良原氏の許に書面を出し何卒高敎を仰ぐと申し送つた、所が折返し奈良原氏から返書が來て『飛行家たらんとせば先づ

◇第一に機械學を

研究せよ』と敎へられたので氏は茲に決然意を決し主人の許可を得て同年十一月三日の天長の佳節の夜を期して愈々梅田工手學校の夜學部に通學することゝなつた、以來五箇月間小僧姿で孜々として勉學した爲稍機械學に付いての素養が出來たので四十年六月更に佐渡島商店より暇を取り同商店へ出入りの大阪西區九條鋼鐵工場に入り

◇機械職工の見習

として實地の研究を怠らなんだ」所が十一月に入つて東京戶山ヶ原で奈良原式飛行機の第一號が初飛行を爲すこの報に接したので氏は急遽上京して之が見學を爲すことゝなつた、當時恰も歐洲より歸朝したばかりの

◇德川日野兩大尉

も亦代々木原頭に於て練習中であつたので氏は終に東京に止まつて研究を續くるの決心を爲し勉學に餘念なかつた、四十四年六月に至つて所澤の一隅で奈良原式第二號が建造され先輩白戶榮之助氏が之を操縱して練習してゐたので氏は奈良原氏の好意で氏の指導の下に助手として働く事となり

◇茲に漸く初一念

を達することが出來たのである、同年末には奈良原式第三號竣成し白戶氏は之が處女飛行に成功するに至つたが氏は其時丁年に達し

◇輜重輸卒に合格

し大阪輜重兵大隊へ一時入營の身となつたが四十五年三月除隊と共に再び上京し折柄恩師奈良原氏の鳳號が製作中であつたので引續き之が研究に沒頭し當時製作技師長たりし志賀理學士の指導を受け大いに得る所があつた（つゞく）

◎下がる事は必定（滿洲農作物）

今は豐作乍らに高いが必らず出來秋には下落せん

滿洲各地方の農況は已に報道せし處なるが或一部に限り不作なるのみ他は總體豐作の見込なるを以て已に相場漸落の氣配を示しつゝあり且理なるが過般來日本內地の米買占及び騷動等の影響を受け或奸商は之が買占をなしたる結果再び持返して甚だ高價を保ち居る樣なるが愈々秋收期に入らば直ちに漸落を見るは免れざるべし吉林省の如きは麥作甚だ良好なりしも時局の爲め日支商人等は逸早く之が買占に着手すべき氣配を見せたる爲北滿小麥は逐日漸騰を示し建米支那建一斗官帖十五吊文位なりしに目下に於ては二十吊文（即ち日貨一圓五六十錢）以上を唱ふるに至れりといふ（奉天）

◎寬城子に於る支那兵暴行事件

嚴罰と謝罪にて解決

喧嘩の起りは些細のことより

旣報寬城子に於る支那兵の我兵に對する暴行事件に關し其詳細を聞くに二十二日朝寬城子驛に到着したる支那兵の一隊が東支列車に乘車せんとて驛前に休憩しゐたる處午前八時半頃此中の下士卒約三十名が滿鐵の設置せられたる湯呑所に來り各自湯呑を湯桶に入れ飲用せるを以て驛見廻方野津八太郎及び火夫山崎辰之助の兩人は未だ充分

◇◇煮沸 し居らざるを以て後刻飮用に供すべしと傍に居合せし同驛勤務の巡警を介し話たるに二十四五名の者は立去りしも下士四五名は聞き入れず無理に否まんとして其中の一名は野津の右肩を捉へて突き除けたるより野津も同じく突返せしに今度は足を揚げて同人の腹部を蹴りたるより同人は其足を取て引倒したるに他の兵は野津を捉へ散々毆打し之を制止せんとせし山崎に煮沸せる湯を右肩より胸部に

◇◇浴せ かけたる爲山崎は怒りて兵士等に抵抗し互に格鬪を始めたるが之を見たる我獨立守備隊第一大隊第二中隊一等卒佐久間鶴松及び四中隊兵卒三橋金六、田中末吉の三名仲裁せんと近寄り來りしを支那兵は加勢に來りし者と

◇◇誤解 し矢庭に打つてかゝりし爲め我兵は有無を云ふ暇なく之を防ぎ居たるに同驛柵外に休憩中なりし支那某大尉は喇叭を吹奏せしめ約一個中隊の兵は銃に著劍の上實彈を裝填し叉他の兵は

◇◇機關銃 三四門に裝彈して包圍威嚇を加へ益々騷ぎの擴大せんとせし際支那某少佐及び出張中なりし當驛助役馳付け双方を取鎭め支那兵は銃劍を納めて已が部所に復歸したるが佐久間一等卒は左腕に三箇所の銃創と

◇◇銃劍 にて腹部を刺さんとせしを支へたる爲め右腕に傷を負ひ顏面亦數箇所の擦過傷を受け驛員山崎は火傷し他の三名夫々數箇所打撲傷を蒙り直ちに當地滿鐵醫院にて應急手當を受けたるが

◇◇此報 に依り須賀兵站司令官、中村鐵道線區司令官、山內領事同地に急行し支那軍隊の出發を止め置き陶道尹、交外交科長の來驛を求め交涉の結果暴行責任者の處罰、敵對行爲を採らしめたる直接隊長の

◇◇嚴罰 陶道尹より山內領事に對し將來の保證、支那軍隊全部整列の上我寬城子停車場司令官に謝罪、長春驛長に謝罪、滿鐵側被害者に相當見舞の力を謀ずる事等の我が

◇◇要求 を容れ同日午後六時半右一個營の支那軍隊は寬城子停車場前に整列し我將校、驛長其他の面前に於て喇叭吹奏捧銃して謝意を表し指揮官蘇炳文は我司令官に對し口頭にて謝罪したる後左の

◇◇陳謝書 を提出し無事解決を告げたり

（一）停車場勤務滿鐵社員に對し暴行負傷せしめたる事

（二）驛司令部服務兵卒に對し暴行召傷せしめたる事

（三）一部隊及び機關銃に裝彈せしめ威嚇的態度に出でたる事

以上の不法行爲を爲したるは恐縮の外なし茲に謝意を表す

第九十三團第二營長 蘇炳文

而して殘餘の條件は陶道尹の保障を以て後より實行する事となり軍隊は同夜東清列車にて哈爾賓に向へり（長春）

◎人の拂底で

△困つてゐる滿洲各地▽

滿洲各地を通じて下級勞働階級の人員缺乏せるより各階級を通じて轉職する者多きため今同左の如く內地人通信夫及び驛夫等の大募集をなす事となりたり

郵便電信の配達

內地まで雇ひ入れに赴く 滿洲內でも應募者少なし

滿洲に於ける通信事務の逼迫は其極に達し到る處不平の聲を聞きつゝありしが當局に於ても相當手を盡し何とか機敏の取扱ひを爲すべく苦心し色々と研究したるが都督府通信管理局及び各郵便局の通信夫の如きは不足其絕頂に達し屢々手を換へ品をかへ募集に努むと雖も一向應募なく事務は山の如く堆積し澁滯甚だしく到底所在地に於て人員を得べき途なきを以て愈々內地に於て募集するの外なく今度局員小松、木下兩氏を派遣し成るべく都市を避け木下氏は九州方面に小松氏は長野縣の山中愛知大阪等の近縣に迄手を延ばして人員を得べく內地に出張したりと（奉天）

◎滿鐵では驛夫の待遇を改め旅費支給す

雇員以上に昇進の途あり

滿鐵大連管理局は本年の輸送盛期に應ぜん爲貨車數百輛を急造する等專ら諸般の準備中にして從つて多數の人員を要するとこなりしかば驛夫の如きも從來より餘程高給を與ふるのみならず內地よりの志願に對しては旅費を支給する等時勢に應じ著るしく其待遇を改善したれば昨今內地よりも就職志願の申込頗る夥たる趣きなり當地方にても滿鐵の被服乘車券を給與する外驛夫より雇員に昇進の途も開かれ居り時局柄特に鐵道に從事せんとするもの多く各驛ども傭手を求めて就職を申出づるもの多き由なるが高等小學卒業程度の者は尙ほ多數を要する由（長春）

◎晉州の酒造業

組合員と資格

入會金は二年分の稅金

△大田晉州郡守、稲隆同財務主任等の盡力により晉州酒造組合設立し廿五日發會式を郡廳內にて擧行する事に決定會員は藥酒、濁酒、燒酎を釀造する鮮人に限り會員たるの資格を有し組合長の承認を得二箇年間の酒造稅を見積り入會金として納入するにあらざれば郡內にて酒造業に從事するを得ず現在入會手續を了したる者六十七名にて入會金約四千圓以上に達する見込なるが基本金は會員の必要に應じ貸附利殖の道を計り其の利益を年末に會員へ配當する豫定なり最とも會の主眼は酒稅の圓滑を計るにありと曹隆財務主任は語る（晉州）

●黃州產の苹果● 西鮮に於ける苹果產地たる黃海道黃州郡附近產の苹果は去月中旬より平壤市場に出廻りつゝあるが現在最も旺盛を極め南鮮產は殆ど入荷を絕ちたる現狀にて目下賣行良好を極め居れり旭等多く市價は祝一箱二圓、旭二圓二十錢見當にて賣行良好を極め居り尙ほ昨今は北產金柑盛りにして上等品箱一圓八九十錢を唱へ居れり（平壤）

蠶況

◆秋蠶―慶尙南道

天候順良なるため良好にして中分無き狀況を示めしつゝあるより桑葉の不足はなかるべし秋蠶は春蠶に比し販賣數量多く例年收繭の八割以上の販賣高を示す狀況故本秋も收繭豫想石數一千九百八十六石なる故其の例に依る時は約一千六百石以上販賣さる事は斷定し得べし尙ほ晩秋蠶も意外に多く例年に比し五割增加の見込みなりと尙ほ慶南の掃立枚數及び最も收繭多きは地方左の如し

（掃立枚數）一〇六〇八枚（收繭豫想）一一二〇石 九八六石（晉州）一〇五〇枚 二五〇石（密陽）一四九三枚 二一〇石（蔚山）六一三枚 一二二石（河東）五七八枚 一〇二石（咸陽）九八二枚 一七九石（居昌）一四九三枚 一七五石（晉州）

◆秋蠶―慶尙北道

慶尙北道管內に於ける本年の秋蠶は總掃立數一萬三千百五十八枚にして掃立の最も早かりしは六月三十日にて八月廿日を以て全部の掃立を終了したり蠶兒の發育狀況は一般に良好にして本年の收繭豫想額は二千五百五十九石なり（大邱）

◎滿洲に蠶業獎勵

關東都督府にては今回蠶業獎勵の爲め東京蠶絲學校敎授土屋泰氏を聘し大連旅順に於て蠶業に關する講演會を開き夫れより金州普蘭店貔子窩等順次講演會を開き巡回する筈なりと（奉天）

◎殊勳者の名を騙て受刑

◇本人が俄に勳記を◇ 褫奪されて其筋相判明

去る五月中旬兼二浦料理店泉樓に登樓し短刀を振廻して暴行をなし其の筋の手に捕はれたる三菱製鐵所職工福岡縣生れ伊藤福造は平壤地方法院に於て審理の末懲役四月に處せられ平壤監獄に於て服役することゝなりしが裁判確定と共に同人の身許を取調べたるに伊藤福造なる者は日露戰役に從軍し勳八等に敍せられ剩つさへ功七級の殊勳者なるより賞勳局に於て同人の勳記を褫奪することゝなりたるが然るに此の殊勳者たる伊藤福造なる者は現に九州八幡製鐵所職工として勤務し居り此程突然賞勳局より勳記を褫奪せられたるより驚いて其次第を取調べたるに前記の兼二浦の惡漢伊藤福造といへる者は巧に氏名を詐稱せる實は前科二犯の伊藤與吉といふ福造の知人の者なること判明せしを以て本物の伊藤福造は勳記褫奪を取消され僞物の福造こと本名與吉は平壤地方法院に於て更に懲役一年六個月に處せられたり（兼二浦）

○朝鮮各地湯錢しらべ

京城	五	四五	一五
仁川	五	四五	一〇
釜山	二	二五	三〇
大田	四	三	七
鎭南浦	五	四五	一五
新義州	五	四〇	五
群山	五	四〇	一〇
馬山	四	三〇	五
元山	四	三〇	五
平壤	五	三〇	一〇
大邱	四	三五	五
木浦	五	四〇	一五
光州	五	四〇	一〇

（光州警察署調）

◎支那人の暴行

◇本邦人十餘名の遭難◇

吉林省伊道縣沙河子炭坑從事の邦人十餘名を去二十三日數百名の支那人取卷き暴行を働きつゝある由通報ありたるを以て昌圖守備隊より將校以下三十名四平街警務支署昌圖煤煙公司及び開原警務支署により警部以下四名双廟子より巡査二名同地に急行したり（長春）

◎巡警釋放

五龍背溫泉場に於て我が警察權を侵害せんとして我が守備隊警官の爲め取り押へられ安東へ拘引し來りたる支那巡警五名は日支官憲の間に圓滿の解決を見二十三日朝に到り釋放されたりと（安東縣）

自動車 東京市外東京府立 自動車學校 大阪西區市岡町 右 大阪講習所
本校卒業生愈々不足校外生と雖も…

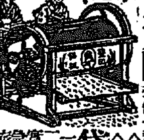
質 大塚質店 京城明治町二元曙町 電話一八四九
戰慄すべき火災の防備に遺憾なく完全なる倉庫あり 多額の融通も致し御便宜を圖る

◎◎朝鮮名物◎◎ 金剛飴 京城本町電話二七 四七五番 龜屋

鐵道局拂下品販賣 夏 紺セル 洋服 冬 紺小倉 絨服小倉服 外毛皮胴着外套チヨッキ各種多數 軍隊拂下品一式 和洋古中衣服類一式 新調洋服類 右多少に不拘御用命被下度候 龍山元町二丁目長電一〇五番 和洋衣服商 金子商店 官衙拂下品 拂替口座京城三八三

時計 寶石 貴金屬 販賣 製作 仁川本町

五週年紀念擴張廣告の爲 一厘も手金 無用 貸附及び提供 一臨時特價も △一郡一名限 △特約店 △大急募 一人で安く樂に五反扱 象印冠



一郡二十名 一驗稽四有 急來社支給 旅費も貸 機械生產社 說明書送大阪難波芦原町

◎◎◎◎◎ 移轉御披露
弊店儀今回旭町壹丁目に移轉從來通り料理業相營み居候に就ては輕便を旨とし至極安値に便利相謀り可申候特に弊店の誇りとする處は閑靜の小坐敷數間有之一夕の御清遊には最も適當の所を得居候論より證據一回御試みの爲め是非御運び被下度願上候
京城旭町一丁目 太陽組車帳場向 會席 御料理 梅花 電話二二四八番

藥草 淫羊藿エキス

淫羊藿は古來有名なる藥草にして之れを服用する時は靈妙なる効驗ありと支那朝鮮兩國人に愛用せられしが些出一地方に限られて彼の高麗人蔘の如く廣く用ひられず普く知られざれども其の効驗は遙かに人蔘を凌駕するとて醫家の重用する所なり今や醫院試驗所乃至藥劑家に於て研究中に屬し未だその成分は發表なきも强壯劑として將亦精力增進劑として有効なることを認識されたり加之本劑は東醫寶鑑其の他の醫書により其の効能の顯著なるは明かなりとは雖も何如なる成分が人體に有効なるかは彼の神秘的なる人蔘と同じく明白ならざるが故に姑く疑問の解明を將來に待つ外なし併して之れを社會に提供するに至りしは其の實驗上斯かる有効なる藥草を一地方少數人士の使用に限るは國民保健上大なる損失と思料し精選したる原料より經驗に富める藥劑師をしてエキスとなしたるものなり

定價 二十丸入 金[illegible] 三十丸入 金[illegible] 四十丸入 金[illegible] 五十丸入 金[illegible]

主効
一神經衰弱症 一胃腸病 一ヒステリー
一貧血症 一腎臟病 一ヒポコンデリー
一腎臟病 一腦病 一老衰
一肝臟病 一リウマチス 一精力減退

一、精力を盛んにし精神を爽かにし體力を增し元氣を良くす
二、思考判斷及記憶力の減耗を癒す
三、讀書計算の疲勞を癒す
四、安眠し亦眼の疲れを癒す
五、筋骨の疼痛を癒し又疲勞を恢復す
六、消化及便通を良くす
七、產前產後及病後の衰弱に良し
八、血の道氣鬱症に良し
九、子なき人に良し
十、貧血虛弱を癒し氣鬱を良す
十一、手足冷腰の冷めるに良し
十二、陰萎遺精及子宮病に良し
十三、寢汗に良し
十四、長壽なるべし
以上に依り適應症左の如し

用法及服量 一日半グラム乃至一瓦を溫湯に溶解し若くはオブラートに包みて飮用す
注意 空腹の時飮用するを良しとす。エキスは香氣苦味を帶有す濟酒にて吞下すれば樂なり。本劑は少くとも一ケ月以上繼續して服用すべし然らざれば効果少し。六ケ月以上に至り効能特に顯著なり半グラムは小豆大一グラム大豆大なり

▲本代理部は御承知の方へは前金にあらざるも送品可仕候得共成るべく前金（京城日報代理部 振替京城三〇〇番へ拂込み通信欄にて御注文の事）にて御申越被下度候然らざれば代金引換便にて御送り申候に付御損と相成可申候
▲價格五十圓以上一時に御注文の方へは一割の特別割引を可致候
▲本藥取次販賣の御希望有之候はゞ御相談可申上候

全國一手販賣 京城太平通り 京城日報社代理部 電話長六〇〇九番構內十八番・振替京城三〇〇番
京城特約店 山岸天佑堂 北島支店

商況

東京期米特電
二十七日前場　寄付　二十七圓三十五錢

兵庫期米特電
休會

大阪株式特電

株類	拂込額	廿六日後場
宇治川水	五〇.〇〇	一
京阪電鐵	五〇.〇〇	一
東洋紡績	五〇.〇〇	三九.二〇
合同紡績	五〇.〇〇	…
鐘淵紡績	五〇.〇〇	二三四.〇〇
同上新株	五〇.〇〇	…
東洋汽船	五〇.〇〇	一
大阪商船	五〇.〇〇	一
日本郵船	五〇.〇〇	二〇六.〇〇
同上新株	五〇.〇〇	一二九.〇〇
堂島米穀	五〇.〇〇	…
東京株式	五〇.〇〇	…
大阪株式	五〇.〇〇	一六二.一〇

大阪三品特電
二十六日後場
八月限　一四一〇.九〇
九月限　……
十月限　……
十一月限　……
十二月限　……
一月限　四〇七.九〇

大阪期米特電
二十六日後場
寄付　二十九圓五十九錢
二節　六十三錢
四節　四十九錢

下關期米特電
停止

雜報

●三品小高し　休日明けの三品市場は米棉五圓方の急反落にて前日に比し僅に二圓方の上値

内外の上値　綿布は九十錢と休し僅に二圓

三銘先物十三圓

九十錢前より一躍

五十錢方の突飛

●正米漸く落付　正米は昨年後更に人氣沸騰して午前中に比し約一圓方の昂騰を示し上米は三十六圓處出來せしものありしが爾來取引……

價格發表　買人は總て手控

五圓十錢在來種三十四圓二十五錢……

命令の威力　鮮人側收用令の適用を恐れつゝある……

双方睨合

持米急賣

退かんとするものも多かるべく此結果は自然市場の在米の増加するものと思はるれば在米の下落とならば相場の次第……

鮮米獨高

●染料暴騰す　輸入少なく又在來品殆ど狂的相場を現出し……

三割高　約二倍近の暴騰

●白米又値上げ　白米は內地並出元山方面より引續き多く買物……

圓方引締は未だ原料高の影響現はれざるも何れは一部の値上げを見るべし

●粟は高氣配　支那

昌圖物の十二圓五十錢乃至十三圓

●明太魚鈍調

●內地製粉市況　……二十四日に至り果然關西某大手筋……

先高漸騰氣勢

●砂糖氣强持合

況　持合の市

僅に安賣の絕

●値を維持する　諸物貨の今日なほも各種共新米出廻り迄價を維持すべく……

下關相場
●朝鮮米は强硬　……

然强硬

產地に依

南大門廻穀
……

仁川正米
仁川米豆取引所仲買人　今村覺次郎　電話三三六・三八番

生魚市場
本日は仁川物の外元山鯖尤も多……

落　東京の大暴

仁川期米
二十六日後場
新規賣買停止中
▲第一節大阪前場一節三十四圓〇九錢二節〇四錢三節〇八錢四節十二錢五節〇四錢六節二十九圓……

仁川米豆取引所仲買人　仲買店　電話一八二長一八三番

二十七日前場
▲第一節中先共に出來不申
▲第二節中先共に出來不申
▲第三節中先共に出來不申
▲第四節中先共に出來不申
▲第五節中先共に出來不申に付散會

市場雜觀
▲昨後場は大阪前場三十四圓〇九錢……

遂に三十圓十二錢

大阪は高前場

錢と最高直出現

釜山市場
二十四日
▲安米（無商內）本日は殆ど……

米穀收用の買上
直段の高

持續や疑問

斯る當値

價格は農商務省

告示　正未收用

仁川米豆取引所仲買人　仲買店　電話一五八番長一五九番

寄は一圓十四錢　東京今前

大暴落

解合問題一部に

唱道

一時中絕

新甫十一月限

立會開始

東京株だより
▲紡績株續落……

白米標準値
四十一圓

白米小賣値
一等白米　四十錢五厘
二等白米　四十錢

塚原卜傳
第百七十九席　悟道軒圓玉口演

宮本武藏正名小倉の細川侯に仕へて居りましたが、此人は天狗飛切りの妙術をよく遣はれること、此人に就いて劍法を學び……

○變つた御飯

★人造米　人造米の製法は……

★吞氣飯　徒步旅行家の……

日曆
八月廿九日　九星

演藝案內

本町五丁目　稻荷座

本町五丁目　浪花館

本町三丁目　壽座

▲噫悲壯歐洲大戰亂

▲戀か義務か　全三卷

▲火中の美人　全四卷

黃金館

母の淚劇　全三卷

白萬弗の秘密

京清鐵引き

猛炎　全五卷

有樂館

大拳鬪家　全五卷

燒かぬ嫁　全三場

夢幻劇　力　全五卷

壽館

本町一丁目　電話一〇五〇

櫻井町　大正館

喜活劇「安全第一」

新派悲劇「霧の雨」全四卷

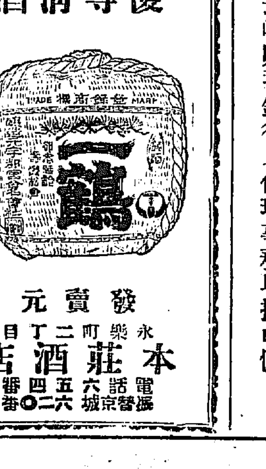
連續大活劇「秘密の王國」

新劇「出雲怪談」全三卷

眼科專門　入院隨意
京城明治町東拓橫（電話二〇四四番）
江頭眼科醫院
日曜祭日午後二時迄
江頭富雄

資本金六百萬圓
株式會社 十八銀行京城支店
同　龍山出張所
弊行ハ各樞要ノ地ニ為替取引店有之諸預金貸付其他送金荷為替代金取立等銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候間多少ニ拘ラズ御取引願上候㊅右ノ外株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

優等清酒



發賣元
永樂町二丁目
本莊酒店
電話 六五四
振替京城 二〇六

京城旭町二丁目
外科 皮膚科 瀨戶醫院
醫學士 瀨戶潔
電話二四九八番

繪團扇の繪に
ある樣な美しき御顏、その因はたゞ美顏ユーマーの御常用から

美しき君かな
美顏ユーマー常用の方の美容を萬人の目と口は斯く見斯く言ふ

美顏ユーマー
桃谷研究試驗所創製の化粧液にして光榮ある御化粧料三十六種の內

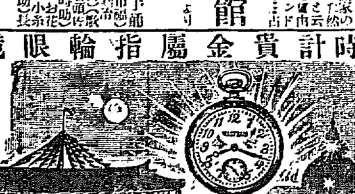
男女 粹草紙
珍本
粹書
大美堂

黃金町長橋町入口
田村質店

一番よくきく かぜねつさまし
かぜにてきめん ぷく

キナピリン
本舖大阪 高橋盛大堂藥局

寫眞
京日寫眞製版部

時計貴金屬指輪眼鏡商

京城本町二丁目
三浦天龍堂

贊化病院
京城明治町一丁目
內科 小兒科
入院隨意
每日五名を限り無料施療す
醫學士 古城憲治

京釜線（南行）（北行）　京義線（北行）（南行）　湖南線（南行）（北行）　京仁線　汽車發著時刻表

第五版

[illegible]ネロ・サントス經由ブエノスアイレス寄港航は[illegible]して巴奈馬經由燃料炭積取上委港して[illegible]に寄港日本著の新復航路を試驗的に開始し其成績に依りて同航路[illegible]定[illegible]居れる矢先の事こて[illegible]尙ほ同社に向つては[illegible]は貨物の如き[illegible]に拘らず[illegible]し定期こなす場合は十月より開始するの運びこなるべしこ（大阪）

京城日報

特種部落民の暴動

植民地移住者の警戒●●●●●●

[illegible]米價の暴騰より來れるもの[illegible]こするは、固より皮相の觀察たるを免れず。されば之て國民の或る一部に、露國に見るが如き危險なる思想の浸入したる結果なりと見るも亦大早計たるを免れず。勿論世界的大戰爭の影響として、國民思想の上に、大なる變換を見るべきの兆候歴然たるものありと雖も考ふるは、餘りに神經過敏に失せり。然れども一般下層階級の上層階級、特に例の成金者流に對する過激なる社會主義や虛無主義が、噂々種の間隙に汎く傳播しありこ驚愕[illegible]機を得て爆發し、彼[illegible]が如き暴動を演じたるを見れば、米價の暴騰は殆ご暴動の誘因たるに止り、其の眞因が別個に存在するを思はざるを得ず。更に其後取調の進行に依り、彼の暴動に參加せる者の內、例の特種部落民が八[illegible]する所なるべし。由來特種部落民が、竹槍席旗を以て、時の爲政者に反抗したるの事實は、吾人の見もし聞きもしたる所にして、往藩嘯聚、掠奪暴行は、彼等が天性的惡行こいふも恐らくは溢言にあらず。而も彼等をして此の如き惡行を發成せしめたるは、要するに社會の壓迫に對する一種の反抗心に出で苟くも機會の以て乘ずべきあれば、事の利害損得を顧みるに遑あらず、篤然こして平素鬱積せる怨懣不平を晴らさずんば止まず。而も彼等の多くは無智無識なり、諸外國に於ける過激危險なる思想等は、未だ聞きも及ばざる所なるも、其の行事に至りては、露國の末路に於ける勞農一揆こ殆ご其轍を同じうす。蓋し社會の抑壓に對する下層民の怨恨は、東西の隔てなく、人種の差別なく、人類を驅りて一種の猛獸たらしむるを以てなり。畢竟諸外國に於ける過激危險なる思想も、かゝる狀態の下に醞釀せられたるものにして、若し公平に其罪を論ぜば、社會は宜しく責任の一半を負擔すべきなり。

日本の特種部落民は幸ひに無智にして、外國に於けるが如く組織立ちたる理論を有せず、一時の鬱行を以て鬱憤を洩すに止ることも雖もこは只過去の現象なり。若夫彼等をして外來思想の一蹴に觸しむるに至らば、其の勢力の[illegible]して難かし。其の流弊の激甚なる、恐らくは豫想の外に在らん。而も其の時機の來るや決して遠きにあらず。爲政家たるもの豫め之に備ふるの計を爲し、未だ陰雨せざるに牖戶を綢繆すべきは勿論、社會一般も自ら戒愼する所ありて、非法不理の壓抑を禁じ、彼等の鬱憤の原由を除去するなかるべからず。

以上述ぶる所は、獨り內地に於ける事實たるのみに止らず、植民地に於ける內地人の行動に就いても、亦同樣の缺點なしこせず。時こして新附同胞の恨を買ふこあるは吾人の耳にする所なり。是等は植民地の同化發展を害するのみならず、將來に向つて大禍害の種を撒くものなるを思はざるべからず。社會に於ける不公平の待遇が常に禍害を生むの實例を想ひ、敢て老婆心を布くこ云爾。

米騷擾事件（一）

政府の責任に就いて 東京 某顯官談

◎我輩は今政府の一員で有るが、玆には國民の一員としてお話をする。無論政府の事でも惡い處は惡いと指摘し、何等遠慮する所なく自由に公平に今度の騷擾事件を批判して見たいこ思ふのである

◎今回の騷擾事件は誠に遺憾に堪へない事で、思慮ある國民が政府こ憂ひを共にせらるゝのは、我々の感謝に堪へぬ所である。併しながら世には今度の事件の爲めに政府の責任を追ひ現內閣が辭職さへすれば事件の全部が解決するかのやうに論ずる者あるのは、見當違ひも甚だしい。全體論者は今回の事件を如何なる性質の事件こ解釋し、又責任の本義を如何なるものこ解釋して居るのであるか。我々の現政府に要求する所は大いに論者の所見こ異るものがある

◎一體責任なるものは、事件の性質に關して負ふものこ原因に關して負ふものこ、結果に關して負ふものこの三つがある。然らば今回の事件こ政府の責任こは果して如何なる關係に在るか。先づ之を明かにしなければ責任呼ばはりは決して正鵠を得るものでない。勿論政府は一國の爲政當局者として哲學的に云へば國內一切の事物に責任がある。啻に政治的、社會的、人爲的の事のみならず、天災地變禽獸草木蟲魚の事に至るも責任が無いとは云へぬ。併しながら斯う云ふ性質の責任こ、政府の政治の得失が直接事件を誘發した所謂政治的責任こは、自から區別をして論じなければならぬ。敢て我輩は時の背任追求を爲す譯ではない。先づ騷擾事件の性質其者から研究してかゝらねばならぬこ思ふ

◎併し騷擾事件の性質原因に就いては、目下關係當局が調査中であるもの故我輩一個人が僭越ながら獨斷的論斷を下し難い。たゞ新聞紙其他の報道を基礎こして考へて見ても、事件の性質が明白に識者の眸裡に映出するので無からうかこ思ふ。第一に騷擾の發端若くは之が中心的運動を爲した者は誰か、第一は即ち特殊部落の新平民である、第二は即ち社會主義者である、第三は社會主義かぶれの海外勞働の歸朝者である、第四は職業的强竊盜犯人の跳躍である、第五は一時的發作の騷擾犯人で、第六は群衆自ら群衆に亢奮せる群衆に過ぎない。而して其他は多く善良なる見物人であつて、今回の事件は全く前記數種の階級が煽動挑發に出でたる事明白疑ひを容れないのである。

◎故に今回の騷擾事件を解剖して見るこ、米價騰貴、生計困難は之れが發火の動機又は標語である事勿論だが、其の原因は別に在る、乃ち貧富の鬪爭、階級の衝突であつて、其間恐るべき危險思想の勃發したのを認めざるを得ない。蓋し京都、大阪、神戶等に於ける所謂新平民こ普通平民この間に從來如何に痛刻なる階級的確執ありたるかは、有識者の夙に憂慮した所であり、又一般貧窮者の富豪、成金に對する嫉妬反感が、近年益々熾者なる事實こなり、漸次劍吞なる風潮を馴致したる事實は、心ある者の夙に憂慮したる所である。此時に方り、時局の影響に伴なひ、物價の暴騰、生活困難の勢ひを高め、一方不正商人の買占、暴利が遠慮無く行はれたので、之を動機こして、終に今回の不祥事を惹起するに至つたのである。群衆の目標が一々米屋、富豪、質古師等に在りたるの事實は、此間最もよく民衆心理の趨向を物語るものではあるまいかこ思ふ

哈爾賓畫觀（四）

出征兵‖ 鶴田吾郎

◎◎◎

闘はじび戻くないものである、に跡の今想へば誰れの罪と言へよう。秋井の陰人こそは未だ羨識こも見られるが、之れでも此悲慘の陰翳は處に於ても消すことは能ない。堂々たる男子、軍帽軍服、兩足は切斷されてよろよろと二本の杖にて自分を運し行く、路上に惡をふは一層慘である、靴を磨き得るものは何好のだ

◎◎◎

個性こ國民性（四）

文學博士 吉田熊次氏講演

廣く全體を見渡して一般的の原則を本こして大に強き意志の作用を附け加へて行くこ云ふ迄の自覺は無い。思ひ付くこ云ふこ總てを打棄て、其方に進んで行くだけの強さを持つて居る。誰でも皆一度は然う云ふ時代を經過するのであるが、其間に又個性の相違に依つて或人は青年期の特質が最も著るしく現はす人もあれば或人は左程で無いここもある。之が若し國民性こなるこ隨分厄介な國民である、感情が主になつて智識が鈍るから逆つて頑迷こ云ふここにもなる。強い意志に依らず隨分不合理な事も思ひ付き次第にやるこまあ斯う云ふ國民性である。世界の中には斯んな民族もあるのでは無からうか。

第三の膽汁質こ云ふのは前の二つより餘程進步した、何方かこ云へば意思の強い方である。ヴントなごは感情の動き方に就ての特質こして、強い感情が動き、又其處に速く其感情が動くこころの個性が感情上に於ける膽汁質だこ云つて居る。此方の一般の人格を各方面に就て考へて見るこ多血質の如く感覺の世界に囚はれて居るのでも無く、全體こして道理を見渡す理性の力こ、理性の指導に基づく意志の活動の十分に出來る人りになる。又統一もあり強い個性で先づ人格の上から云つて最も賴である。個性を持つて居るだけそれだけ一度自分の考へたここは容易に動かさぬ、傲慢になる、又頑迷に陷るこごもあるこ考へられて居る。故に之を年齢の上から云へば大人の時期に相當するものである。若し國民性の中に膽汁質が多くあるこするならば、其國民は甚しく內治外交及び各般の施設を爲す上に於て克く計畫を立て一定の主義方針によつて正しき道に邁進するだけの勇氣を持つて居る筈である。

並行線（六十四）

瀧閑村

新婚の際られてゐるやうな愛は疾に覺め、おのぶの嫉妬に依つて是から永い一生の首枷こなるべき苦痛——多少の好奇的に其分娩を期待した苦痛の豫感は次第に宜太郎の心を固くして行つた。

事業より外に世界に何も無い如く思つてゐた時分の宜太郎は、おのぶを單に事業を進めて行く一つの道具こしか思はなかつた。其過去の黑い影なこはごうでもい、こ思つた。處が事變は頓挫する、家庭は物價騰貴の聲に日に／＼首へ掛た繩の輪を縮めて來た今日では、おのぶを單に一つの道具こ見る譯には行かなくなつた。それに婚儀し同棲して、玆に二人だけの一國が出來てからは、おのぶの心が自分以外に向つてゐる事を妬むほごの愛情も加はつて來た。

さうした眼を以ておのぶを見るこ、そこに幾つもの缺陷が發見された。おのぶにすれば結婚した以上宜太郎はモウ自分を離れる心配は無いこ云ふ安心もあり、思ふやうに働けぬ生理的の障碍もあり、自分でもごうする事も出來ないやうに激しい感情の變化もまだ殘つてゐた。こは云へ、是から後幾十年の寢食を共にすべき妻こしては缺陷が少からずあつた。

『そんな風に考へては無理だ、可哀さうだ。』

こ思ひ返し乍らも、眼前の事實をごうする事も出來なかつた。婚約こ宜太郎の就職による安心は、日を重ぬるに從つて、そこに二人の間に一種の倦怠を造つた。お互ひに露骨に口に出しては反抗もせず、爭論もしないけれご、宜太郎もおのぶに對して不平があつた、おのぶも宜太郎に對して不滿が無くなかつた。併しそれは他の口火に點火される每に爆發するのは防げなかつた。

『嫂さん。』

こ勝手口から呼び掛けて、夏子は時々訪ねて來た。夏子に就いてはおのぶの嫉妬は珍らしくもあり始ましくもあつた。清潔好きの夏子は、此頃の兄の家が取り散らされてゐるのが先づ不快だつた。家具の整理こ云ふやうな此細な事で或日二人は小さな爭ひをした。

おのぶの胆には嫂の威厳こ云ふ考へがあつた。夏子の胆には、兄を欺して嫁いつて來たこ云ふ侮蔑があつた。それに宜太郎の出勤した後だつたから、二人は碎に爭論した。

『宜うございますよ、ごうだつたつて、此處は私の家だから。』こおのぶは激した。

『夫は判つてゐるワ、只私は斯うした方が宜くは無いかこ云つた許りですよ。』こ夏子も屈しなかつた。

『貴女方は私が一人だこ思つて、皆でいぢめやうこする、そりや私は貴女のやうに女學校も出ちや居ないし、ごうせ馬鹿だから……』

『オヤ、何時私が貴女を馬鹿にして？』

『現に今馬鹿にしてゐるぢやありませんか。』

夏子は好い潮を見て歸つてしまつた。

夕方宜太郎が歸つて來るこ直に此話をした。そして

『貴郎からして私を馬鹿にするもんだから、皆に私は馬鹿にされるんです。口惜しい。』こ泣出した。

宜太郎が慰めても耳にも入れない一日の仕事に疲勞れて歸つて來た宜太郎は裏から慰藉を得るに代へて、爭鬪の餘波の苦痛を與へられるのにウンザリした。そして肉身の妹を罵られることも快くは無かつた。

『好い加減にしろ、早く飯の仕度でもしないか。』

こ叱るこ、おのぶは益々聲を揚げて泣いた。

○米國製鐵近況

[illegible]中なりし同社技手[illegible]光氏は二十三日早朝橫濱著[illegible]島丸にて歸朝したるが語つて曰く本社工場に据付くべき機械類はヴアジニア州ブ[illegible]約成立し[illegible]後米國政府の禁輸問題あり成行氣遣はしきを以て特に出張せる次第なりしが程なく輸出を許可され附屬物其他は既に積出[illegible]工場に註文しいづれも急速製作に從事し居るを以て此方の心配はなき[illegible]政府の●●●●

▲鐵價公定の●●● 結果規模大にして[illegible]の膨脹に拘らず價格特定の爲め收支償はずして業務を停止せるものあり現にゲーリー製鐵所の如きも予が參觀の際は工場一部の運轉を[illegible]の外米國より鐵の供給を仰ぐは[illegible]主權ならん（東京）

○新浦近海漁港

成南新浦近海に於る本月上旬中の漁況[illegible]つゝあり網れ[illegible]く漁獲なく鯛、鯖、鰤等の水揚は殆んご皆無の狀態に在るも亦馬養島附近の漁場はサワラ漁の好成績を擧[illegible]日迄の水揚け高にても既に[illegible]以上にたつし一般同地近海の本年サワラ漁は大いに有望こ思惟せられつゝありこ

本紙定價 壹ヶ月七拾五錢 參ヶ月前金貳圓拾五錢 六ヶ月前金四圓 壹ヶ年前金八圓 郵税共
廣告料 五號十五字詰一行一圓五十錢 同特別二圓 二號七字詰同二圓 四號九字詰同 六號十七字詰同
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 編輯…六十九番 營業…六番 振替貯金京城…〇〇番

明治大學學生募集
◎法科、商科、政治經濟科各大學豫科第一學年二學期に入學を許す ▲編入試驗九月七日
◎法科、政治經濟科專門部特科生の入學を許す ▲入學試驗九月七日
◎新學期 明治高等豫備校 學生募集 九月十一日開始 ◎規則申込は武錢郵券添附申込のこと

株式の選擇は
公債株式現物問屋・信託
今や投資家は健實なる平和株の選擇に移りつゝあり就而當店は常に有利なる平和株の選擇に意を用ひ敢て調査行之候間投資家の御下問に答ふべく多少に拘らず御用命の程奉懇願候
朝鮮銀行 一九五、〇〇〇 同
殖産銀行 二六、〇〇〇 拂込を了し近く株券發行
東洋拓殖 七〇、〇〇〇 下期利益增加
新株 二五、〇〇〇
右賣買共に好條件を以て御申越次第迴呈
京城永樂町貳丁目 電話四四九番
丸五商會 有田長

營業創立明治二十八年
時計及蓄音器 御商
京城黃金町二丁目 喜多金光堂 電一〇一五・替振京城七八二

移轉並に名稱變更廣告
今般酒匂虎之助儀藤永田鑛業部技術主任を辭し坂元分拆所こ合同の上左の處へ移轉し專ら左記の業務に從事す
一分拆 一製煉所の設計
一鑛床調查 其他鑛業上必用の件
舊坂元分拆所 京城黃金町一丁目一九二の九
京城鑛物試驗所 電話長一三四四番

財團法人 電機學校
直に再築著手新學期は新校舍使用
講義錄再版著手新學期迄に出來
生徒募集 入學申込九月末日限り 規則書は申込次第送附 東京市神田錦町三丁目 電本局 三二五・七九八

言論界の權威 正義の大氣を溢らせ 九月號 每月一回一日發行 雜誌中の雜誌
新時代
本誌は新聞雜誌の橫暴こ戰ひ其虛報誤報を擊つて社會に提供されたる共同機關なり 新聞紙の腐敗墮落其極に達す[illegible]讀誤[illegible]本誌[illegible]
國家主義 平民本主義 林毅陸
◇國家主義こ民本主義 井上哲次郎
◇調和融合に向つて進展せん 澤柳政太郎
◇君主國體こデモクラシー 志田鉀太郎
◇世界の大勢を支配せよ 戶水寬人
◇國家主義より人格主義 三並良
日本最大の危機
普遍的覺醒こ宗教 伊達保美
支那の政黨 林源一
不徹底なる物價調節策 松崎
根本政策 神戶
帝都新聞の脅迫 楓葉
九州新聞 古賀
時代大觀（對時局の嚴正的觀察＝米騷動の分析的批判＝徹底的論斷）
政界秘密物語（好評喝采獨特の好讀物）
國體の呪咀者革命思想の鼓吹者 大阪朝日 杉中種吉
精妍を競ふ本誌獨特の人物評論
◇薩閥の人々 ◇高商出身の人物 ◇貴族院の新議員 ◇慶大出身の實業家 ◇辯護士 ◇早大出身の實業家 ◇刀圭界の人 ◇株式界の人物 ◇臺灣の人 ◇釀造家 ◇文明批評家 ◇保險界の人物 ◇咄國權 ◇國家主義より見たる
不思議の魔力 償ひ得ざる死 時評 漫畫 歌 俳 月夜の話 法廷の下にて
新進作家優遇 懸賞文藝募集
屍つて本誌は新聞紙の迫害を拒絕し政府政黨個人團體を[illegible]
一部三十錢 東京[illegible] 新時代社

急告!!冬物見本發行に就て
斬新なる冬物見本は近々第一回を發行可致候につき御入用の向は發行部數に制限あり至急御申越を乞ふ
羅紗商 株式會社 武神商店福岡支店 福岡市博多中間町
電話長一九七〇 振替福岡四六〇 電信略號（〇エ）又は（〇）
株式會社 武神商店小倉出張所 小倉市鳥町三丁目
御注意 但し見本御申越の方は洋服業者に限る

朝鮮總督府編纂
朝鮮大地圖
▲八十萬分ノ一縮圖 ▲縱四尺五寸橫二尺五寸 ▲折圖定價一圓 ▲軸製定價三圓五十錢 ▲折圖送料十二錢 ▲軸製送料要實費
本圖は總督府土木課の編纂に係り其正確なるは言を俟たず其最も特色こする處は道路にあり、即ち道路を一二三等道路を既成未成に別ちて最も詳細を極めたり、又諸官衙所在地の正確なるは勿論こす。
發行所 京城蓬松堂 京城本町一丁目 振替京城二五七三 日韓書房 ウツボヤ書店 大阪屋號書店 京城日報代理部 釜山大阪屋號書店

秋蠶種 特價金六拾錢 送料弊社負擔
京城府龍山 東蠶社 長電話龍山六四二番 振替京城二六二一番

公告
當合資會社ハ大正七年七月三十一日解散シタルニ付キ當會社ニ債權ヲ有スル者ハ來ル大正七年十月拾六日迄ニ左記清算事務所ニ申出ヅヘシ若シ右期間ニ申出無之トキハ清算ヨリ除キ清算可致候仍テ公告候也
大正七年八月廿八日
釜山府草梁洞三一二九番地 協同新船合資會社 清算人 李[illegible] 同 張[illegible] 清算事務所

最新刊
書名	著者名	定價
天然利用健康增進法	伊藤尚賢	九五
心靈現象の問題	小熊虎之助	一、〇〇
商賣こ開運	森友道	一、二〇
朝鮮語の先生	根本勉	一、二〇
赤本俗字案	定價二圓三十錢	
◎獨逸を中心に		
大正七年度遞信地圖	遞信局	一、〇〇
圖解投入花盛花十二ヶ月		一、六〇
黃川物料理十二ヶ月		一、六〇
サフオ「ドオデエ作」	武林無想庵	八五
月運主義日訓	小林一郎	一、二〇
グーリー式の學校	田中廣吉	九〇
總督府編 ◎朝鮮大地圖	折定價一圓軸定價三圓五十錢	
鐵道從事員習字帖	坂上開柳	五〇
ペン書翰文習字帖	同	五〇
綜本稗史小說第五集	博文館編	三八
最新帝歐現勢指掌圖	民友社	五〇
最近短篇集こ表はうしろ前		七五

京城本町 大阪屋號 電話六四〇番 一〇八六番 振替京城二五七番

◎仁川と濱阪航路（一）
鐵道長距離遞減運賃改正
仁川穀物協會の運動

仁川穀物協會の奥田貞次郎氏外有力穀類商九氏は二十六日朝入京當日は遞信局並に京鐵管理局を訪問二十七日總督府に長谷川總督以下各當局を訪ひ朝鮮西海岸こ横濱並に阪神の命令航路開航の件及び鮮鐵の貨物賃金遠距離低減法の改正に付陳情尚ほ關係方面を歷訪の豫定なるが氏等の當局に求むる要點を聞くに左の如し

現時運輸界の狀況を通觀するに歐洲戰亂の影響こして到る處貨物の增加を見從つて海陸兩方面こも異狀の活況を呈しゐるが就中海運界の現狀は眞に驚駭するの外なく運賃の如きも甚だしく昂進し殆んご底止する處を知らざる有樣にして尚且つ船腹の供給不足を極めつゝあり爲めに仁川港の如き昨年以來日本郵船會社尼ケ崎汽船會社其他の不定期航船は勿論大阪商船會社の定期船すら自由航船に變じ殆んご入港せず爲めに

▲貿易上　最も密接の關係を有する大阪神戸間の就航船さへ定期運航を見ざるのみならず今や其影を斷たんこするの現狀こなり從て移出貿易の阻害せられたるここ甚大なるは左表の示す所に御座候

▲內地船入港表

年次	汽船隻數	噸數
大正四年	五九七	四五九、六六五
大正五年	四八八	三四九、一八五
大正六年	三六四	二五三、七〇三

▲海路出入貨物表（單位噸）

種別	大正四年	大正五年	大正六年
輸出	[illegible]	[illegible]	[illegible]
輸入	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]
移出	[illegible]	[illegible]	[illegible]
移入	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

然るに一方鐵路輸送の狀態如何を觀ずるに依然こして舊運賃率を改めず卽ち甚だしき遠距離遞減率を襲踏し來たり爲めに百九十五哩の上下に依り高低差殊に甚だしく殆ご短距離輸送を禁止せらるゝ觀あり之當時の鐵道政策上止むを得ざるものありしならんも蓋し現時の如き貨物輻輳の時代を想到せられざりしものなるべく今や貨物激增の結果却つて貨物の過剩に苦しみ甚だしきは滯貨物の輸送に約半箇年を要する今日の狀態に於て如斯手段を固守するの甚だ無謀にして假ひ之を廢止したりこて鐵道收入上何等の不利なる點なかるべく宜敷此の際に於て遠距離遞減法の撤廢を以て策の得たるものこ信ず況んや前述の如く船腹不足の爲め

▲鐵道運賃　こ船腹に依る運賃この差甚だしき懸隔を示しつゝある現時の狀態に於ては一般荷主は採算上當然の結果こして不自由且つ高價なる船積輸送を避け專ら鐵道輸送に託するの狀態なるを以て西海岸第一の港灣を控ゆる當港に於てさへ何等港灣の利用を爲し得ず鐵道沿線に於ける各地方の鐵道に依り託送するは論を俟たざる所にして從つて益々鐵道貨物の中堆積を來せり然るに鐵道輸送能力には一定の制限ありて如何こもなし難く殊に近來滿洲聯絡貨物一層頻繁し加ふるに隣線の連絡不如意なるため前述の如くの之が輸送に大阪迄り四五箇月東京迄りに至りては半箇年の長日月を要する有樣にて閑散時に於いてすら事程斯の如し況んや農產物の收穫期を眼前に迫りつゝある時合其の時期に於いて如何に貨物の停滯すべきかは識者を待たずして想像するに難からず是全く現時の海運界の實狀こ矛盾せる

▲鐵道政策　たる遠距離遞減法を改めざる結果にして爲めに商工業者の被る損害の極めて大なる者あるは勿論漸く勃興しつゝある產業の發達を阻害し國家經濟上實に寒心に堪へざる次第なり

◇王世子
下の關御通過

李王世子殿下は李太王御病氣御見舞こして二十七日午後八時二十分下關御著同九時關釜聯絡船新羅丸にて御歸鮮あらせらる、御豫定なり（二十七日午後一時發東京）（特發午後十一時半延著）

西尾子爵通過

西尾子爵は滿洲青島視察を終へ二十七日夕安東通過京城へ向け南行せり（安東特電）

◇江藤代議士通過

代議士江藤哲藏氏は滿洲視察の爲め廿七日午後一時五十分安東通過北行せり（安東特電）

◇工藤長官視察

工藤平安南道長官は滿洲視察の爲め廿六日夜安東通過奉天に向へり（安東特電）

◎在上海墺俘虜
聯合國側從軍要求

上海の支那街南市に收容され居る敵國人中の七十五名は墺太利の國籍に屬せる海員なるが最近彼等は北京の外交團に向ひ速かに

▲釋放を得て　聯合國側に從軍せん事を要求したり今其の眞因こ動機こを聞くに元來彼等七十五名の海員中大部分は墺領伊太利人に非ずんば墺領ボヘミヤのチエック民族及びスラブ民族にて正眞正銘の墺國籍に屬せる者は極めて尠し故に純墺國人たる船舶所有者及び官憲に對して之等海員は不斷の脅威たり最初支那政府は獨墺沒收船の海員に對し何等拘束するの意無く上海共同租界に於ける敵國人取締規則こ略同樣職業姓名の登錄を終へたる者には寬大なる取扱ひを爲す考へなりしも墺國汽船會社は却つて支那政府に向ひ

▲彼等は危險　分子なるに就き任意市中を逍遙せしむるは不可なりこ陳述せり茲に於て中央政府は已むを得ず彼等を俘虜收容所に拘禁するここゝせり次に獨墺兩國汽船會社の海員に對する態度を見るに獨逸海員は各獨逸汽船會社より平均每月六十元（日本金換算約九十三圓）づゝの支給を受けつゝあるも墺國海員は然らず墺船の沒收されて以來彼等は屢々代表者を擧げて墺國汽船會社に向ひ獨逸の例に倣つて手當ての支給方を交涉せしも會社側は拒んで承諾せざるのみならず前記の如く支那政府に對し冷酷極まる答申を爲せるより憐むべき海員は益々往生の

▲悲境に陷る　に至れり支那政府は彼等の窮困を坐視するに忍びず每日平均四角五仙（邦貨換算約七十錢）を支給するここゝせるは今より一年以前の事なりき彼等の純墺人に對する所謂る深刻こなれる近因は此處にあり而して聯合側の日支英米佛伊六國の總領事がチエック軍を援助せん爲健全なる露國再造の義軍を起したるより彼等は之れを動機こして北京外交團に向ひ釋放を得てチエック軍こ伊太利軍に外投し以て聯合國の爲に盡力せんこを要求するに至れるなりこ之れを

▲耳にしたる　獨逸人三名は俘虜收容所に到り慰撫を試みたる結果墺人々籍の海員等は其の危害に怯やかされ折角の企畫も中途にして挫折の恐れなきに非ず（上海）

◎國債規則改正

政府は時勢の趨向に鑑み國債所有者の便宜を增進する爲め大藏省令第三十五號を以て國債規則に數個の改正を加へ二十六日の官報にてこれを公布したり其の

▲重なる事項　は（一）從來國債の應募者又は證券所有者の毀損紛失に因る代證券代利札の交付を請求する者又は登錄除却其の他證券の交付を受くべき登錄に關する請求を爲す者又は國債元利金の仕拂を請求する者は日本銀行本支店代理店又はそれ等の派出所等の取扱店に就きて證券利札又は現金を受け取るべきものにして申請者付を受くるの途なかりしがこれ等國債の利子を除く外は規則上送付請求書（又は主たる請求書に附記して）を取扱店に差出せば取扱店は請求者の指定する場所に送付するここゝ定め卽日より施行の筈なり（二）從來國債規則に依り國債の取扱に關し諸般の請求を爲す者は概ね多少の

▲手數料　を納付するここを要するは第八十條に規定する所なるが今回全然これを廢止し證券の引換、分割、併合代り交付又は新規登錄、登錄の變更、移記、所管店轉換、除却等總て證券、利札若しくは登錄に關する請求は無手數料にてこれを爲し得るここゝし此の手數料の廢止は省令公布の日より二十日を經て施行せらるゝもの故即ち來る九月十五日より施行のここゝなるべし（三）尙同時に省令第三十六號を以て明治三十九年省令第二十四號第二項を削り大藏省證券割引發行の臨時國庫證券又は鐵道證券等に關する手數料をも全廢するここゝせり（四）右の外證券の額面種類に關する規定及び登錄令額の制限を改め又證券分割の制限を廢止したり（東京）

◎內地行滯貨況

京鐵局城管理局調べに依る朝鮮內に於ける八月二十日現在迄の內地行き聯絡貨物輸送狀況並に滯貨狀況を聞くに左の如し

在荷數量

（イ）局線內各驛滯貨

	本州線米原以東行	本州線彥根以西行	下關及九州線行
三月中申込のもの	一七〇	〇噸	〇噸
四月中同	一、三三一	同	同
五月中同	二、八〇四	同	同
六月中同	三、四二九	二、八二〇	同
七月中同	一、九四九	一、四六七	同
八月中同	四二〇	一、三二一	三、三二五
計	一〇、〇〇二	五、五〇八	三、三二五
（ロ）馬山棧橋滯貨	六二九	五九〇	六四四
（ハ）局線內輸送中のもの	一、五二五		四八〇
合計	一八、二五四		一、四四九

尙關釜間及び山陽線輸送力中本州行に於ては米原以東鮮滿發のもの二百五十噸釜山地發のもの五十噸にして彥根以西に於ては鮮滿發二百四十噸釜山地發六十噸にして計六百噸なり其他九州に於ては鮮滿發のもの百六十噸釜山地發のもの四十噸にして計二百噸を示せり而して當局線輸送に對する制限は東行每日四車にして一驛一日の發送噸數二噸（米大豆）を除くにて取扱ひ承認數本州行每日十五車九州行每日四車にして一驛一日の發送噸數に制限を附せざる可しこ

◎蠶絲令發布期

朝鮮產繭は種類の不同甚だしく在來種の如きは品質良好ならず收量良からず目下內地に於ても最近盛んこなれるに鑑み總督府に於ても朝鮮蠶業改良の第一步こして蠶種の統一を圖り併せて不正商人の取締を爲すを必要こし從來各道に於て道令を以て發布せる蠶種製造取締規則を統一し新に蠶絲令を發布す可く目下商工部に於て立案中なるが大體農商務省の蠶絲法令に準じたるものにして之が發布を見るは十二月頃ならんべし

◎朝鮮瓦斯總會

朝鮮瓦斯電氣株式會社にては廿六日東京麴町區有樂町生命保險協會に定時株主總會を開き本期純益六萬二千五百十六圓七十七錢利益配當一株に付金八十四錢（年七分）の原案を可決し從來の舊役を重任こし新たに社長こ改稱し從前通り香椎源太郎氏留任するこことなれり尙同社は近く釜山東萊間に自動車營業を開始すべしと云ふ（釜山）

大阪より

▲ア燐鑛入札　九月より積取るべきアンガウル燐鑛石三萬三千噸の入札を十九日海軍省にて行ひたるが島渡し一噸十三圓五十錢にて三井物產に落札したり肥料當業者への割當に關しては既に去る十七日東京にて聯合會を開き略決定し居れるも九月中旬當地に於て關西關東人肥聯合會を開催し更に協議を爲すべき意嚮なるが如し因に今回のアンガウル燐鑛落札値段は今春の落札値段に比し二圓八十五錢方高價なるこ運賃も亦騰貴し居れるを以て近く聯合會開催の上は普通過燐酸十貫匁入一叺の販賣協定値段は二圓五十錢に引上げられんこするもの、如き雲行きにありこ

▲昆布漸騰　今期新物出廻り當寺に於て先安見越しこ投物陸續して現はれ市況漸次仕勢を辿りたるが其後產地は天候不良にて收穫に便ならず例年に比し三四割方減收を來したる爲め昨今相場も稍持直し一時の安値より約三圓方引返せるもの多く目先高かるべしこの唱へ勝なり

▲和紙商狀一服　和紙は比較的堅實の步調を辿り居たるも原料パルプ等及工賃の昂騰に四月頃より二割方の高値にあり夏季の閑散期も倶ち合ひ昨今需要期に入りたるも取引が內地市場に限られたる爲め過般の騷動に地方よりの註文を手控へたる向き多く商狀一服姿にて見送り居れるが各地騷擾に歸するこ共に註文一時に殺到す可く勢ひ多少の上押しを見越され市況強含み居れり

▲麻類昂騰　麻類は過般來尼拉の供給激少ありて輸入額に減少したる爲め一躍三割方の昂騰を告げたる爲甞適品一俵六十圓を呼ぶに至りたるが船具材料こしては支障無き柄尼拉麻が絕無なるならば之れが打擊甚大なるものあるべく目下は約定品のみ邪々入荷され居れるを以てさしたる不足を感ぜざるもやは約定品輸出さへならば更に一段の昂騰を見るべく秋季に入るこ共に需要旺盛なるを以て製品一般に強含み居れり

▲鐵類高保合　鐵類は五六月の交印度方面への輸出約定なく先月以來之が砿出の爲め內地市況を煽りたるこ製鐵所の入札價格も相當高値なる爲め先月以來弄給を續け鐵網鐵棒にて五百十圓見當なるも現品出廻らず厚板は千四百圓薄板八百五十圓こ手堅く洋釘三十二三圓にてこれ又需要に應ずる

▲澱粉反撥高　不勢の商品は打續ぎたる狀態にあり取引は高値の爲めに多少減退したる向きなきに非ざるも南洋印度の輸出が之れを補ひ市況漸く活氣を呈し居れり澱粉は廿日氣配を見直し十、十一月限十三圓二十五錢こ出來昨三十錢より五十錢こ跳上げ三日前に比し二十方の反撥を示したるが引續き良好にして賣情を辿り居たる

▲英商瓜哇買占　波斯狀態なる瓜哇糖は昨新近瓜哇に於ける英商館が本國政府の內命を受け白双出六萬噸の買付けを爲したりこの情報達したるが和蘭政府が米國の同意を得て英國に船腹を提供し因りて輸出を圖らんこするの素志を達するものにして或は近く市場に於て一大反動を見るべく延いて我が市場にも甚大の影響あるべし（大阪支局）

◎七千萬圓突破
鮮銀券大膨脹

朝鮮銀行券は其の後益々膨脹の趨向にあり二十四日遂に七千萬圓を突破して七千百廿七萬九千圓を示したるが休日明けの二十六日は更に躍進して七千三百三十九圓に達したり

◎畜產株應募超過

東拓の娘會社たる東洋畜產株式會社の株式募集狀況を聞くに南鮮地方は特に多大の好成績を贏し關係筋より進んで應募申込みありたるため一般公募を行はざるも締切期日以前既に滿株の盛況を見るに至りたる締切期日は二十七日にて應募者中內地其他の遠隔なる地方よりの申込書到達には猶數日を要すべければ應募總數は今判明せざるも略應募總數四萬株に對し一萬三四千株の超過を見るべしこ

◎鑛業登錄（自八月十四日至同十六日）

▲鑛業權設定

金銀鑛　全羅南道谷城郡竹谷面　西原延策
四十四萬千四百二十五坪

金鑛　慶尙北道金泉郡甑山面　呂泰大、金澤瑞、呂煥徹
七十四萬五千八百二十坪　呂舜東、崔昌燮

同　同
七十七萬六千三十三坪　金澤瑞、呂泰大、呂舜東、崔昌燮

同　平安南道成川郡崇仁面
二十四萬八千四百九十八坪

砂金　咸鏡南道永興郡古寧面　中小路守之助
一萬四千四百二十坪　申利鎬、朴致瑞　閔

▲鑛業權移轉

忠淸南道洪城郡長川面

▲共同權者脫退

平安北道碧潼郡松西面　田島德平　任雲鵬

▲事務所設置屆

忠淸北道堤川郡水下面　山口太長作
風山鑛業所を設置し七月二十日より鑛業に著手

金鑛　同永同郡楊江面　伊藤喜
地に永昌金鑛事務所を設置し五月三十日より鑛業に著手

タングステン鑛　忠淸南道靑陽郡赤谷面　田中富吉
赤谷面花山里に花陽鑛業所を設置し七月二十五日より鑛業に著手

金鑛　同洪城郡洪北面　趙貞九
同洪城郡面內德里六十一番地鎌林方に洪城金鑛事務所を設置し十日より鑛業に著手

◎京城學校組合會議

京城學校組合にては二十九日午後三時より組合會議を開催し左記の事項を議すべしこ

一　大正六年度歲入歲出決算認定の件
一　組合給與規定中改正の件
一　組合立道職員及傭人臨時手當支給規程制定の件
一　大正七年度戶別割賦課減免に關する件

■訂正　廿七日夕刊一面「仁川運賃引上」の記事中七十錢を一圓に値上こあるは八十錢の誤植に付訂正す

人事消息

▲梅野氏（三菱金二種出張所長）　廿七日夜入京天眞樓へ
▲武藤正治氏（三菱社員）　同上
▲永彥四郎氏（新義州營林廠事務官）　同上浦尾へ
▲吉田熊次氏（東大文科教授文學博士）　廿七日出京
▲大村恐三郎氏　大阪淸水谷高女校長　同上
▲濱口庄吉氏（大阪天王寺師範校長）　同上
▲加藤房藏氏（本社々長）　旭町一丁目部前社長宅跡に下居

鳥瞰雜俎

▲露國勞兵會の外務部長チエリンは東淸鐵道の南方支線を日本に賣却するこか云つて居る▲其から產物の輸入に便宜を與へ日本人に隨意に西伯利亞に於て工業的商業的生活を營ましめんこするのださうだがあるこ勞兵會國大會の席上で言明して居る▲海に善い考へだ早く何故其處へ氣付いて而して實地に之を行はなかつたか氣の付き方が手遲いゝ▲實際其意があるなら西伯利亞の秩序維持こ開發を日本に委任すれば好いのだ之は全くも未だ遲くはない▲獨逸の手先になつて其日々々の暮し向きでは蓋の底迄も飛ばされねばならぬ事になるレニンやトロッキーの樣を見ても判る筈▲沛鹽では又誰も多々始まつたらしい露國人は國が亡びかゝつて居るのに喧嘩ばかりして居る▲ホルワット君は過般はセミヨノフの妥協に反對した事もある▲チエック軍の車掛鐵道利用を跳付けた事もある妙に共同生活の出來ぬ人こ見える▲其權高事を自分一人で切り廻したければ最う少し人望が無くては駄目だ而して兵力も無ければ駄目だ▲結局は自分が自分を滅ぼす事にならねば好いが▲殊に沛鹽には未だ過激派の勢力のある今日進んで沛鹽の平和を擾亂するなごは思はない甚だしいである意外な野心は此際出さぬが好い▲其こもチエック軍やセミヨノフ軍が大いに奮戰して居るのを見て若し此際安閑こ手を束ねて見て居たら最後は自分が跳ねけられるこの心配をしたのかも知れぬ▲野心家は之だから困るイヤ獨りホルワット君許りではないよ

□電報延著　東京方面の電報は線路故障の爲め本紙締切後に到着せず

○栃木縣下の青田買ひ

[illegible]占め居るが二百二十七噸位の見當なり（宇都宮電報）

◎連絡船上陸客

二十[illegible]……二十六日午後入港博愛丸上陸[illegible]

○金剛山自動車復舊　[illegible]間自動車は道路破損の爲め本月十七[illegible]

櫻岳　藤戶計太著

最新朝鮮地理

クロース金文字入　八百五十頁　定價金二圓　郵稅十二錢

著者は地理研究に熟誠にして半島の言語。風俗。慣習の講究をなせる朝鮮通にて曾て學生時代に全道に殆んど足蹟を印し支那富源楊子江を著し盛名嘖々たりしものありしが今回同目の地理研究の結果を發表せり

一本書は大正二年十二月の道府郡行政區域の改正及び其後各道に於ける面洞里の廢合に依る最新の朝鮮地理書にして內容は第一編全道に於ける沿革、位置、境界、地勢、氣候、產物、人種、族別、民籍、戶口、言語、文字、風俗、宗教、教育、衣食住、行政、財政、經濟、產業、商業、交通を記し第二編各道に於て沿革、位置、地勢、交通、經濟、產業、商業、戶口、著名山河等を記し第三編各地七百餘ヶ所に於て沿革位置、地勢、交通、商業、產物、戶口表、官公署、學校、會社、組合、町名、名所、舊跡等を記し加ふるに實用的各種の參考表を以てせり

一本書は附錄こしてアイウエオ別道府郡島面索引及內地、臺灣、關東州、樺太の地名表及五十音別目次を追加せり

一本書地名には朝鮮諺文を附し日本假名を以て音讀を附加し國語、朝鮮語の連絡を知るに便し引いて字音の關係に依り內鮮關係の密接なるを明白ならしめたり

一本書は內鮮人を問はず官民を論せず朝鮮に於て公私諸般の事に從ふ士の最新最好の案內者たり指導書なり

一本書は各種學校各官衙各銀行各會社に最も關係ある著名地の必要なる各般の事項を蒐集せる參考書なりこす各種學校、講習會の良參考書なり

一本書は察閱中顯を得て取捨宜しきに適し讀者をして通覽一過直に半島各方面の事情を遺漏なく通曉せしめ行政に商工業に金融經濟に運輸交通に便し遺憾なからしめたり調査研究資料を供し事業計畫實行に當り最良指針たり

一本書は朝鮮を經營し又旅行せんこするものの爲めに充分なる指針たり又旅行探險者をして安全なる進行をなさしめ毫も渉氷を踏渉するの危險なからしめたり

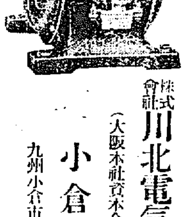
一本書は名山麗水名所古蹟に關する詳細なる調査資料を供し遊覽者の探勝歷史家の探究に便せり

一本書は全編五百頁文を繙けば卷を覆ふ能はざらしめ加之ならず本書は各地の事情に精通するを得べく立て全道諸般の事項に當り安心して活動するを得せしむるを注意せり

一本書は資材正確周到にして序次懇切を極め讀者をして多趣ならしめ誠に空前の好著なりこす詩文を各所に配在し朝鮮事情に精通せんとする有志者は速に本書を購求して左右に備へられんここを望む

發行所　京城太平通一丁目　振替京城二〇〇番　京城日報代理部

取次所　大阪屋號書房



川北製モートル　各馬力在庫

各電氣會社に納入し常に絕大の好成績ご數量の夥多なるここ實に冠たり

株式會社　川北電氣企業社（大阪本社資本金參百萬圓）

小倉出張所　九州小倉市馬町電話六八

最新　朝鮮地誌　上中下

■本書は本社發行朝鮮商業叢書の一部こして發行せるものにして朝鮮地誌上中下三冊こして朝鮮地誌大全こ稱すべきものなり

■本書は朝鮮十三道十二府二百十八郡二島二千五百十二面に就て最新の材料こ最も正確なる調査資料こに依りて本社々長釋尾旭邦自ら編輯に當りたるものなれば世間自ら定評あり敢て自家廣告を待たざるなり

■恐く朝鮮地誌としては最新のものにして其詳しきこと本書の右に出づるもの無きことは斷言して憚らざる所也

■苟くも朝鮮を知らんこするものに取りては本書は唯一の指針なり、又朝鮮各道を旅行視察せんとするものに取りては本書は唯一の好指針にして確實なる好案內書なり

●定價　一冊一圓　三冊三圓　送料二十四錢

發行所　京城南山町一丁目　朝鮮及滿洲社　振替京城一三三

鑛山と灌漑と排水　喞筒

○虎印八角鋼朝鮮發賣元
東京鋼管會社
東亞製鋼會社
中根式鐵押揚喞筒製作發賣元

朝鮮總代理店

京城南大門外　電話一〇四番　中根商會

京城岡崎町　電話一五六番　中根工場

塗料船具油類金物
土工用器具及材料
雨覆天幕製作販賣
近江帆布會社製品
朝鮮一手特約店
同免許船燈販賣所
製作販賣所
旗印石油合組販賣所

仁川本町一丁目　村谷本店　電話長五六番振替京城五九番

支店　仁川府支那町　村谷石炭部　電話八一九振替京城五九番

平安北道義州城內　義州印刷所　電話長三一振替京城九八

□懸賞課題及び募集規定

□募集規定　[illegible]

[illegible]……米買占行はれ辛辣なる鈴木の手は此方面に向ひ出穗前の青田に對し收穫の費用を出して片つ端より買ひ[illegible]

一等（十二名）田中武矢郎、大内要、田中重二、[illegible]、西崎龜太郎、松内定二、[illegible]、外人五名　二等（九十名）岡田ひで、同繁次、[illegible]……等客　二十五日午後入港[illegible]丸上陸「二三等（四百六十二名）[illegible]……

◎獨逸の嘘吐公報

—時々は獨帝も加つて地下室で捏造電報を作成—

世界最大の捏造電報製造地は何ごと云つても獨逸を眞先に擧げねばなるまい今では獨逸政府其者が虛報の製造局であり且つ專賣局であるのもこれが千古に類例のない成功を收めつゝあるのだから驚かざるを得ない、其の

◇專賣局と　云ふのは言ふ迄もなく獨逸外務省で其製造場は同省の地下室だそうであるこの地下室は凡て幾つかの立派な部屋から出來てゐて其中に働いてゐる製造人こそ獨逸に取つては寔に得難い代物で何でも世界最大の嘘吐き名人許りを集めたものだそうだ其中には多數の男もあれば女もある彼等が時を定めて會合し各々彼等の頭の中で虛構電報を美事捏ね上げる其手際こ來ては

◇實に賞讃　に價すべきものがあるそうだ此部屋からはウイルヘルムトラッセの各省及び電務局へは、縱横に電話を架設し而も之が獨逸の何れの地へも連絡するやうになつてゐる此の地下室の各廊下には歩哨兵が嚴重に之を警戒してゐる、此廊下を屡々憔悴したる老人が通ることは件の會合に加はらんが爲めに來る老人で之ぞ獨帝其の人だそうだ何しろ迷宮のやうなこの地下室の樣子は假令哨兵と雖も窺ひ知ることの出來ない仕組になつてゐる而も

◇此室には　獨逸に於ける無二の完全なる無線電信機を設備して二六時中其の發信受信が非常に忙しいさうである何しろ此の無線電信機に依つて國内に示す電報は勿論國外へ發表する新聞種も滯りなく製造される此の虛報製造所ご常に連絡を保つて働いてゐるのは伯林の御用新聞社たるウオルフ社であるこのウオルフ社が通信社も兼業してゐるから

◇嘘八百の　電報は國の内外到る所に散布される譯である而もこのウオルフ社の支店が獨逸は言はずもがな歐洲中立國の重要都市には皆抜かりなく配置してある夫れで勝ちもしない勝報や有りもしない戰報誰もしない演說の草稿まで拵へて見たり英佛の窮狀をさも誠しやかに言觸らしたり國の狀態にありもしない流說を放つたりするかの有名な獨帝の逆說などは皆この

◇地下室の　產物だ相な若しウオルフ通信を信ずるなら今頃は倫敦が粉微塵に爆破されてるだらうし英海軍は全滅しなければならないし英國皇帝は疾うの昔に暗殺され英國の半分位は獨兵に據つて占領され佛國は大暴動で苦しめられたり何でも信ずれば聯合軍が悉く大災禍を蒙つたことになる兎に角『獨逸公報』なるものは殆ご嘘で固めたものご思つて差支ないいつぞや其公報に『獨逸は饑饉に瀕しつゝあり』或は『伯林に暴動起る』云々など云ひ觸らしたことがある之なども

◇皆聯合軍　に油斷せしむる爲に故意に饑饉暴動云々ご云ひ觸らしたもので實に油斷も隙もあつたものでない實に獨逸筋から出た電報は悉く眉に唾してかゝらねばならぬ飛んだ邪魔を來すことになる何にしても何處までも寸分の隙もないのは獨逸である

◎李王御見舞

李王殿下には二十八日午後四時昌德宮御出門德壽宮に李太王殿下の御病床を御見舞成りたる上同宮に於て世子殿下の御歸京を待受け御對面ある筈

◎景氣の好い　果物屋

…時の物價高くても好く賣れる…物價騰貴を知らぬ顏のいゝ商賣は果物屋である。『景氣がいゝね』こばかり本町百花園の夜の瓦斯の灯で『ご店の人は微笑んでゐた

の下に色ごりぐのそれこれご

△相場　をきく『景氣は悪くはありません、それに今だけの商賣の景氣が悪くてはたまりませんですよ。お米の影響ですか、さあ判りませんね。御進物もよく出ますし

△先づ　菊栄籠の一圓二三十錢見當の處が一番出ます。竹のかごで五十錢から一圓、しだかごで八十錢から二三圓迄で、取合せはまづ水蜜、梨に、林檎に白か、黑の

△葡萄　ですね。一個の相場といたしましては水蜜桃が大邱か三浪津で一個三錢から五錢、それから林檎、中生の盛りで三浪津産が三錢五厘、種類は祝ごビスマークです、梨が

△上物　が博多種でこれが五錢、それから昨日あたりから長十郎が出はじめて二錢五厘ごいふ處です。葡萄はこれからのもので、素沙からも多くでます、三浪津もので黑が八錢

△白が　十錢ごいふ處水瓜ですか、これはこの間の雨で下つたのが、またしても騰つて來て百匁が廿五錢から、洋物種卅錢になり甜瓜も一時の三倍高になつて西洋人向の金甜瓜が

△一個　三錢から五錢、白が一時の倍で大が十錢、黑い鮮人のものはウンと下つて大きいもの三錢位ごいふ處でせう。高いご云つても時のものですから、お隣さま

面白い食後の會＝朝鮮ホテルにて

ザラデッス君曰く『東洋で一番珍らしい事をやります、踊もあります

ザラデッスこいふ手品のうまい英國人が朝鮮ホテルに來てゐる、そして二十八日の夜の九時半から朝鮮ホテルの食堂で面白い、たのしみの會を開くこいふのである。それについてわが愛嬌あるザラデッス君は語る『私はその晩、東洋第一番の面白い、珍らしい事をやつて、見て貰ふのです、誰も聞いた事はあつても見た事の無い樣な事をします。

◇奇術もやります

◇踊りもやります　此間から大流行の『食卓でやるをごり』食卓の廻りをグル〳〵廻つて踊ることをやります。』英蘭のバーブール孃の今年四十五歳のこの人は記者の眼をのぞき込みながら、ともすれば滑稽に見ゐる顏をゆがめたりのばしたり、拔髮のもしやく〳〵した。

◇髭の中へ大きい

◇長い指をさしこんで一かき掻き廻して見たりして話す。『四月に亞米利加から横濱について、それから日本を見物しました。都會では東京の帝國ホテル、箱根の塔の澤ホテル、京都では都ホテルこいふ樣に各地のホテルで私は面白がられて、大變評判でした。左樣して、山や、温泉や、海の立派な景色を見たのは、輕井澤、草津、伊香保、伊豆、靜岡……』こザラデッス君の足跡實に到らぬ所がない程『けれご

◇朝鮮は始めてで

◇これから滿洲の方へ行くのです。……日本語ですか、解りません。けれご、アリマス、アリマセン丈けは知つてるます。』こニッこ笑つて見せる、一人かこ云へば『一寸こ』こ記者を居室の方へ導いて『踊りの上手なシノーワ孃です』こ紹介する今年廿三歳のシ孃はアメリカ人だこいふ。

◇大きな帽子の下

◇にすこし疲れた樣なそれでも愛想のよい眼を輝かせて、カメラの前に立ち、ザ君こ笑をかはす『よくこれましたか……、アリガトウではまた今晩いらしつて下さい。』こちよつこ語つて等へ出した『サヨナラ』で愛想よく記者を送り出した。この面白い會は二十八日からしばらく。

面白い食後の會の役者ザラデッス氏ミシノーク孃

◇ホテルの食堂で

◇催けられる筈で入場料は一人三圓、ザラデッス君等はその收入の幾割かを英國赤十字社へ寄附するのだこいふ、尙ザ君の息子さんコンスタンテン君二十三歳は目下佛蘭西戰線に活動してゐるこご。

◎鮮滿を巡遊して……（下）

東京女子高等師範學校長　湯原元一氏談

今度滿洲から鴨綠江を渡つて朝鮮に入つた時、十五六年前に行つた時こは違つて、禿山の青々こ今は樹木の濃かになつてゐる事、水田の好く開けてゐた事には一驚を喫したことである。又昔民の少くなつたことも驚かれたことの一つである。以前私の行つた時には、彼が小店の前といはず公園といはず終日何もせずに逍遥てゐたもので世界中にはこんな頽廢した國が、他に二つとあるかと思ふたことであつたが、今では然うした昔の有樣は、殆ご見られない。然り朝鮮人の子女にして既に小學校の教員になつて體操の教練をしてゐる所など此の度目擊した時には、私は實に隔世の感があつたことである。生徒に於ても、容貌體格の如きは、内地人よりも優秀な位であつた。其れから朝鮮は一般に道路の好くなつてゐたことである、そして要所々々には

▽自動車の　設けが出來てゐて交通の便に供されてゐた。斯く道路の立派になつたことは、寺内伯の在任せられてゐた當時からのことで、此れを爲すには、夫役を使役して一氣呵成に道路改善を圖つたものである。又今日は鮮民でも衣食住に困らないやうになつてゐる。此前行つた時には山は禿、人力は醜きたが如き考へで歸つたこともあつたが、今は大に光明に輝いた天地と化してゐる。是聖代の恩澤で無くして、何んであらう。今日朝鮮には内地から三十萬人、關東州には十二萬、其の他滿鮮に於いては都合五十萬、南北には八萬人位移住してゐる。

▽内地人か　行つて居るのである。而も今日では有力な有識階級が漸次多くなつてゐる。殊に財界の代表者が、到る所にて事業を爲せることは、寔に人意を强うせしむる次第である。青島の如き比較的不安定な所に於てすら資本を投じてゐる人は多くなつてゐるのである。實際朝鮮は別ごしても、滿洲方面に於て、官吏以外の有力なる有識才智ある實業家が、漸く地位を高め、以て新事業に着々步を進めつゝある傾向は

▽誠に喜ぶ　べきであるその他滿鮮萬般のことに就きては、其妙からず卑見も有することなれども、其れは何れ機を見て他日に讓ることゝする。

◎饗庭野に陸軍飛行場計畫

江州饗庭野も陸軍飛行場こし八日市飛行場の豫備飛行場こせらる可しこ（大阪特電）

京城商賣　—4—　湯屋

眞實の水商賣

…お湯の中でも米の話が……出る樣では駄目です……

物價騰貴の影響？諸物價騰貴、殊に米高に影響され、確に割の悪い商賣の一は既に致居で引合に出たお湯屋さんであらう。——京城府内で廿九戶、その内各方面に十餘戶を訪ねた結果は矢張最初の家で少し泣言だナミ聞いたのが事實だこいふ事になる

▽……『米高の　影響は意外な程に非道いものです、例年七八月こ云へば各家で行水が出來るので、多少は淋しい時なのですけれど、それでも汗の流れる暑中の事で、相當に活計が立つたものですが、この頃は閑だこなると一日に一圓五十錢位！それが雨の晩こきたらまつたく眼も當てられた者ではありませんよ。それに

▽……石炭は　昨年迄まで九圓こ云はれてゐたのが昨今では二十一圓、それに湯水こ云つても水道の水なのですから、これで如何して活計が立ちませう斯樣なると平常あまり高いこも思はぬ稅金一期の一等七圓五十錢、二等六圓の三等四圓五十錢も、樂なものぢやありません、エヽ、九月二十六日から一錢の

▽……値上げ　をして頂いて湯錢が五錢、札十枚が四十五錢の月極めが一圓二十錢こいふ事になつたのですが、値上げではあまり違はなかつたのが、今度はすつかり駄目になつたのです、隔日の人は三日目四日目になつて、札は出ずに月極めの方は減切少くなりました——これだ。或お湯屋さんでは主人は田舍の方へ行つてゐるので

▽……留守を　永く預つてゐるのだこいふのであつたが『ホントにお預りしたのは好いがこの頃の樣ではお氣の毒でもあり心配です。石炭代だが危い日があります』こほんこに心配相、あるお湯屋では『だめですね、男湯の何だかんだの世話が今日の樣に、蓮入るから、出るまで

▽……米の値　で持きりではね男が米の値を知つてゐる時……そんな時は私等の活計の立つ時ぢやないのです。やつぱり人氣で活る水商賣、水こ云へゞ眞實の水商賣ですからね』こ苦笑してゐる、京城で此處ばかりは『冷し』を置いてゐる日の出湯でもほんこに『この頃では全くながしが商賣にならぬ』ここぼして居ます、ほんとに淋しい晩がありますよ』

◎米騒動から町長以下辭職

愛媛縣北宇和郡吉田町にては米騒動の餘波より町長以下總辭職せり（松山電話）

◎お伽噺發賣

八島柳堂君のお伽噺が愈々本社代理部から發賣せられましたが、朝鮮で初めてこの種の物が發行せられた事こて夙に好評を博して一般少年少女に歡迎せられて居ります。著者は夙に大阪毎日時代から私等こ共にお伽教育には多大な趣味を以て研究して居りました、私達のお伽倶樂部の幹事もして共に研究をして居た事もありました、本書の特長は例のこちない教訓を暗示的に與へた處にあつて加ふるに古賀畫伯の美麗なる挿畫こ共に皆さんを喜ばす事でありますが、本社代理部では定價三十五錢の處、特に五百部限り特價三十錢で發賣するさうですから、賣切れないうちに、この面白いお伽噺をお求めになるやう特にお勸め致します（涙光）

□救濟會寄附

金二十圓　趙信縞
金百圓　石崎商會京城
金三十圓　白周鉉
金十圓　高圭復
金二百圓　李載完
金五十圓　韓昌洙
金二百圓　東洋生命保險會社京城支店
金五十圓　金錫泰
金五百圓　新町遊廓組合一同
金百圓　京都大澤商會京城支店

▲本社經由（以下六口）

金五十圓　金元植
金百圓　洪鎭三
金五十圓　金聖煥
金百圓　趙重應
金五十圓　月城君　永信
金二十圓　金基洙

小計金一千六百三十圓

累計金八萬二千八百九十六圓二十錢也

▲訂正　既報救濟會寄附金中池尻井太郎こありしは池尻林太郎の誤植

◇各地の白米

▲安東　卅二十七日小賣値段（電報）白米小賣値段又復値上げの氣配あり

▲滿洲　變動なし（前日同値）

◎片山内科醫院開業

京城府醫院副院長片山直次郎氏は同院内科に勤務し居りしが今回官を辭して太平通二丁目七十三番地（元工藤婦人科院跡）にて内科診療所を開業する事こなり十六日夜京城ホテルに於て同院長其他の同僚を招待して披露宴を張れり

△鶴ケ岡八幡宮

内地見學團より（7）　堀川生

…夕立ばかり濡れて如何に綺麗に出た、四日市名所を通過ぎ、本曾川の三角洲を過ぎ、て名古屋に着いた。名古屋で東行の列車に乘換へて用下が進んだ、濱名湖々十二時頃、車窓に眺める、打寄す白波が碎けては、散り、散つては又寄せて來る。夜の驛波を破る車の音こ波の私語こを聞いたので富士山は見られなかつたが箱根は眠つて通つた。御殿場を出て隧道を潜り箱根を迂廻して酒匂川谷を下り、相模灘の岸に出て大船に夜が明けた、横須賀線に乘換へて十九日朝七時鎌倉に着いた。鶴ケ岡八幡宮に參拜す、上ノ宮には應神天皇、神功皇后を祭祀し、下ノ宮には仁德天皇を祀るこいふ。石段の西側に大銀杏がある、承久元年實朝公拜賀の式を此の社に擧げ退去の際弑されたのは即ち此處だ。石段を下りて白旗宮を拜み、秀吉が參詣の時頼朝の像を撫で『與公天下友也』こ云つた當時を想ふ。此處を去つて老樹の中に苔蒸して立つた石塔は古英雄の節を物語るべく餘りに衰弱だ。大塔宮護良親王を祀る鎌倉宮に詣る。次に明治天皇の御展覽が揭げられてある。それから建長、圓覺の二大古刹に詣で、電車で長谷觀音、鎌倉大佛に參り、稻村ヶ崎、七里ヶ濱を遠くに眺めて去る。時は徒に經つて江ノ島に行かれず、又惜しい哉。途中横濱驛に下車して埠頭を見、倦怠い體を携へて東京に着く、神田は丁度大火で五十軒ばかり燒けた相だ。（十九日東京にて）

讀者文藝（一等には五十錢の切手券を呈す）

◎一等なし　翁　め　る　今後益々奮勵を望む

佳作者　京城俊雄、同佛重、同雲街、同龍雄

次回課題

[illegible]……道路全く寔に復し二十五日より遞送支なきに至れるを以て同日以降平康驛より毎日一往復の運轉を始めつゝありこ

▲一口噺『時雨』　▲下句付『天高し』　▲俗謠『露』　▲川柳『涙』　▲投句締切は　廿九日　三十日　卅一日　一日　二日　三日　四日

▲發表後一週間以内に副券又は同案發見通告者には五十錢賞品券を呈す但何番何號こ明記に限る▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

京城古市町電話一七四六番　硝子類　畑兄弟　主　畑六一　畑硝子工場

新式魔法瓶

△圓筒形　三合入金一圓九十錢　四合入金二圓三十錢　五合入金二圓三十錢

△水筒形　三合入金武圓三十錢　四合入金武圓六十錢

送料　鮮内二十四錢　外四十五錢

京城太平通　京城日報代理部　電話六〇〇九番　振替京城三〇〇番

幹工場特製人蔘エキス瓶……に限る　其他一般の御注文に可應候

京日案内

▲中込中後途揭載中止の節は料金不返戻　▲六回以上の御申込は特に遠方割引のこと　▲添付郵券は返信附にあらざれば回答せず

▲有利事業資本金千圓位月利益四百圓永久有利事業讓りたし　京城本町三丁目五十六番地福山堂

▲女給仕一名採用　十五歳より十七歳迄希望者御來談　京城黄金町二ノ五五電話一六八一　東京建物株式會社京城支店

◎看護婦一名採用　但希望者は本人乞來談　京城武橋町四　濟生醫院　電話一四六六番

◎獵犬ポインター種三歳　斑點尾しあり身長一尺高一尺五寸大名ミル御連來の方金十圓謝禮　京城　瀧川銃砲店

◎事務員に被雇度し　年齢廿三歳にして銀行會社に經驗有り但市内に確實の保證人二名以上あり御報參上（姓名在社）

外務員招聘　應募希望者は履歷書携帶午前中來社地方は履歷書郵送あれ　黄金町二ノ九六　日清生命保險朝鮮支店

◎工場係入用　鮮語を解し發動機使用に經驗あり且身體壯健にして此の業に熱心なるもの　全北裡里驛前精米所

◎乳母又は保姆至急入用　給料御希望通り　仁川新町　井上病院

◎洗濯婆さん一名入用　但年齢四十前後希望者本人乞來談　京城新町　電話一〇一六番　萬遊樓

金銀細工職人募集　望の方は御來談あれ　京城黄金町二　電話一〇五番　喜多金光堂

ほねつぎ　うちみ　くじき　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場

金地金、高價買入　京城府本町二丁目　電話四七一・振三一九〇　村木時計店

百圓進呈　りん病　ばい毒　合藥

淋病藥王藥は治淋劑として梅毒藥王藥は驅梅内服藥として醫藥界上最も有効こ確定せる　帝國醫科大學病院　著にて責任配劑せる高價藥なるを保證す若し前述の證言に違へる事を發見せる時は分析料百圓進呈　▼あらゆる治療を爲すも効なき患者は一度來談あれ

にせ物　東京其他各地に大阪有田にせドラッグあり　大阪有田　製販賣所

◎にせ物と奸商　通貨でも偽造する惡奸ある世の中だから正札と称ぎる譯なりど敗商は同樣の看板を掲げ寸分違はぬにせ物を賣る奸商が東京初め各地に簇出し無効の藥劑を販賣せり本舖は大阪朝日東京朝日東京報知東京時事其他全國の大新聞と特約し廣告するも何分盲目千人の世の中にせ物と知らずして買ふ人あり被商會製劑御需の方は御注意あれ

大阪有田　（京）南大門外　蓬萊町三丁目　（阪）ドラッグ商會　京城龍山等各地に偽物有り御注意

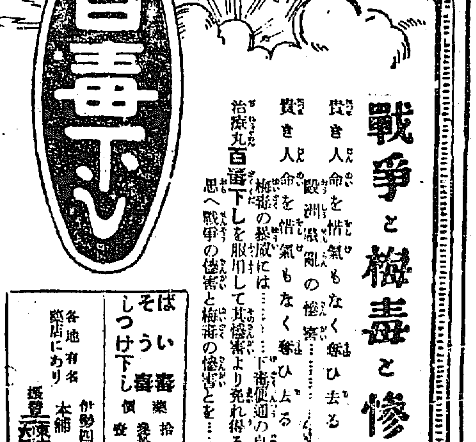
大阪ドラッグ　大阪三休橋　京城南大門外停車場通

李王職御用　模範牛乳　ニウソ　石鹸　洗粉　京城蓬萊町四丁目　東亞牧場　電話二五番

白神洋行　京城

鐵　鋼材　浪板、平板　針金、洋釘　新田帶革總代理店（物價表御一報次第無代進呈）

ペイント、油類一切　コークス、セメント　耐火煉瓦、モルタル　スコップ、シャブル　帶革、ロープ　機械、工具　附屬品其他



戰爭と梅毒と慘害

貴き人命を惜氣もなく奪ひ去る　毆洲戰亂の慘害……

貴き人命を惜氣もなく奪ひ去る　梅毒の猛威には……下毒便通の良劑治療丸百毒下しを服用して其慘害より免れ得る

思へ戰爭の慘害と梅毒の慘害とを……

ばい毒　そう毒　しつけ下し　藥價　拾錢　拾五錢　貳拾錢　五拾錢　壹圓　參圓

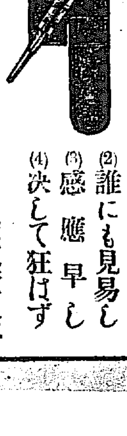
各地有名藥店にあり　本舖　東京市赤坂　加藤[illegible]

内科　小兒科　呼吸器病　胃腸病　喘息　リユマチス

京城本町二丁目四十五番地　電話二八八〇番　山田病院　院主　山田萬作

◎農商務省示度標準計に依る檢定證及年齡別平均體溫表添付

▲パインAG三分計體溫器▼

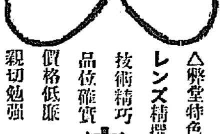


◎四大特徵　(1)示度正確　(2)誰にも見易し　(3)感應早し　(4)決して狂はず

▲優美サック入定價金壹圓五拾錢　送料　鮮内三十錢　外三十二錢

パイン檢溫器發賣元　京城太平通　京城日報社代理部　電話長六〇〇九番　振替京城三〇〇番

眼鏡專門



△弊堂特色　レンズ精撰　技術精巧　品位確實　價格低廉　親切勉强　（詳細定價表發行す）

京城南大門通二丁目二二番地　宮川大學堂　電話二九五九番　振替京城[illegible]　（眼鏡製造工場弟子入用）

◈石材採取販賣◈

採石場　高陽郡崇仁面城北里（東小門より三丁北へ入る）

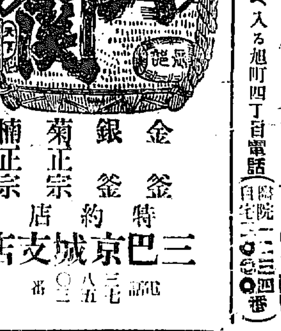
販賣所　京城蓮池洞百八十八番地

土木建築請負業　丸三組　山本春彌　電話一六〇四番

イケダ小兒内科醫院　池田季雄

京城三越呉服店前へ入る旭町四丁目　電話（醫院一二二四番　自宅[illegible]番）

銘酒



金釜　銀釜　菊正宗　楠正宗

特約店　三巴京城支店　電話一八〇五番

（明治三十九年八月十　第三種郵便物認可）

妻の心（七十六）

十二の三　小林蹴月作　武内桂舟畫

『宜しう御座います、七月二日妾の退院して参つた日に、阿母さまと此の事をお約束しました事は、決して忘れません。』

禮子は、いやが上にも男らしく答へて、我を凝視むる母の顔をば見直すやうに屹と視入つた。喜久子は、そんな事が出來る筈はあるまいと云ひたさうな氣色で

『……ではね、禮さん、妾は今日から啞者になつて居るから、お前の思ふ存分におやりよ。』と、話と共に手に持つて居た水團扇を打捨るやうに傍へ投出し、その儘次室へ起たうとすると、丁度そこへ若い女中の一人が、そは〜しさうに出て來た。

『あの奥樣に申上げますが、只今駒子さんと被仰るお方が、御勝手の方へお入來になりまして、奥樣にお目通が願ひたいと被仰つて。……』

『然う、彼の人がもう見ゑたんですかね。では關はないから、此方へ通してお呉れ。』と、禮子は、輕やかに命じて、更に喜久子の方へ膝を向けつゝ、

『あの阿母さま、只今妾を尋ねて参つた駒子と云ふ女は、妾、病院で懇意になつた人ですけれども、大變薄命が續いたさうで、看護婦にならうか、お屋敷奉公を爲やうかと、途方思案に暮れて居ります。この話を聞きましたので、丁度傍やの代りが一人欲しいと思つて居た矢先で御座いますから、是非と頼んで、宅で召仕ふ事に極めて参つたので御座いますの。奉公にはまだ一向不馴の容子で御座いますが、品も好し、氣質も優しい誠に珍らしい人間で御座いますから、阿母さまも憫顧そのお了簡で目を掛けてやつて下さいまし。』と、云ふ。

『然うですかね。甚麼育ち柄の女かは知らないが、喰はせ物の多い世の中ですから、滅多に油斷する事は出來ませんよ。』

喜久子は斯う云ひ捨た儘、別段その女に會つて見やうとも爲ないで、腰の邊を撫で叩きながら立ち去る。

摺れ違ひに恐る〜入つて來たのは、問ふまでもなく若龍の駒子であつた。かねて禮子と打合はせが爲てあつたのであらうが、髪容から帶の締やう、單衣の襟のしさいと、下合までが、水際栗の鮮妓なごゝは、夢にも想像の出來がたいほご地味な堅氣な――何方かと云へば、野暮の頂上とも見るべき素人じみた風俗好に化おほせて居ろ。而も、赤襟の昔から磨きに磨きぬいた粋姿は、何處かに潜んで居ない筈はないのであるが、それを精限り巧に包み隱した所が、矢張變化の術に老けたる粋商賣の本來とも云へば云ひ得るのである。

『まツ、若龍さ……ん。』と、思はず云ひかけた言葉を禮子は半分で咽喉へ嚥み下げ、

『駒子さん、能く約束通り來て呉れましたわね。御覧の通り殺風景な家ですからそのお了簡でね。』

『いゝえ飛んでもない。情願氣の利かない妾でも充分にお叱り遊ばして下さいまし。』と、駒子は、美事自分の身を謙遜つて、女中奉公のお目見得然と控へる。

禮子は、四邊に氣を置きながら心持聲の調子を低めて、

『まあ、當分の内我慢して頂戴ね。一時彼の口喧しい阿母さまの眼の前さへ取繕つて下されば、その内には乾度妾が又、貴女の部屋も取極めて進げますし、萬事居心の好いやうに取計らひますからね。』

『いゝえ、奥樣、その御心配には及びませんで御座います。妾が參つたゝめに、旦那樣の是までの不規則なお遊び方が爲りさへ致せば、是れに勝つた幸福はないので御座います。』と、駒子は俺までも例の義俠本位だ。

禮子は又心から駒子を信頼しきつた態度で、

『そしてあの駒子さん、良人は今日にでも歸つて參りさうな模樣で御座いましたかね。』

『はい、必ず日暮までには、お歸りになる筈で御座います。そして、あの、貴女と妾とに改めて姉妹の盃を爲せねばならんと、獻立事まで被仰つて御座いましたから……』

日報歌壇

□鑄物工場　倉成藤水

默々と鑄物工場は闇の底にアカシヤ林の靜かなるかも

光る初秋の夜のしづけさに錆びたすら吹ゐいでにけり

紅色の溶鐵爐はもごつしりと力みちみち坐りけらずや

みるうちにおほゆれのぼる焰の輪坐は直滾に燃ゐひろがるも

渦卷ける紫煙な仰ぐ裸男等の裸形の顔の恐ろしきかも

炎々さ生命瀧きごろ〜〜と力みなぎり鐵ぞ流るゝ

日報俳壇

■山城吟社詠草（大田）

○

堰を落して隙かの水に目高かな　空堂

蛟遣して詩稿に加ふ朱筆かな　无音

雨雲の脚の迅さよ花胡瓜　一佛

胡瓜咲く我門の犬頼母し　同

むだ花の落ちて胡瓜に雨細き　方外

雨晴れて大き胡瓜や草の上　同

三歳飼ひて鉢の目高や痩にけり　奇石

山車河を隔てゝ遠き囃かな　同

下山する解夏人と御山晴れたり　鵜城

結夏人啞の男を使ひ居り　同

胡瓜小さく揆で並べ板間かな　さゞ女

寢不足の眼に痛し旭や胡瓜揉む　同

黴を拭へば紅鮮かや繪蠟燭　同

地を這うて胡瓜の腹の白さかな　未刀

水替へて柵に片寄る胡瓜かな　同

灯さで胡瓜揉み居る厨かな　同

溪流に安居の米精く脊力かな　同

■瑞興水無月會詠草

○

煙吐く數の工場や町暑き　春草

月を呑みて動かぬ雲も暑さ哉　同

婢登る牛車が暑う軋らせる　同

木蔭あれば人ある暑さ嘆哉　香仙

工夫等の線路に暑さ張偏哉　同

倉の錠暑さ光りす夕日かな　悟山

草を刈鎌に陽が照る暑さかな　同

帷子に軒の陽移る暑さかな　湖劍

行軍の埃らして過ぐ暑さかな　同

船までの砂原暑き迫かな　素人

暑さ喘ぎす駄馬に異邦の風たてり　同

監獄の門峙り立つ暑さかな　台翠

朱硯の水直ぐ乾く暑さかな　同

駄馬が路に尿して暑き日なりけり　同

▲次回課題　泳ぎ、瓜（句數無制限）同好者諸君の投句を歡迎す、締切九月五日、黄海道瑞興邑寳原台翠苑送付ありたし

新刊紹介（到着順）

▲鷄世界（創刊號）家庭趣味としての鷄、鷄の飼育、鷄の將來、宮中供御に召さる、鷄の卵、其他養鷄發上の參考資料たる記事多し（十五錢東京神田神保町一共社）

▲農産加工社（農業世界附刊）農家の簡易副業として實收多き澱粉類、漬物類、麵類、調味料及甘味品、果實類、果汁果酒、ジヤム、ゼリー、豆類、乾菜、漬物茶等の製法、穀類の仕上げ法、貯藏法植物性の油糧類、家畜家禽の飼料、罐詰及燻製類製造法等の記事を滿載せり（二十錢東京日本橋區本町三博文館）

▲大阪銀行通信録（二五一）（卅錢大阪北區中之島一の二九大阪銀行集會所）

▲電氣界（二一九）（廿五錢大阪北區若松町二六電氣社）

▲赤い鳥（九月號）（十八錢東京北豐島郡高田村三五五九赤い鳥社）

讀者の領分

▲數多ある十三道の警務部の中には他に醫師の治療しつゝある患者は一も二もなく傳染病として屆出するが自分の治療しつゝある患者は傳染病なるに關らず報告せずして大に醫藥主義を發揮するものありと汽車中にての話を聞けり某氏の如きは家族の一人が一日數回の下痢に血便を排泄するより赤痢と確信し報告せらるゝを恐れ右醫師の治療を受けつゝあり公衆衛生上誠に寒心に堪ない（一旅客）▲朝鮮古書刊行會發行『東國輿地勝覽』（全五冊）至急讓り受け度御希望價格御は下名へ御一報ありたし（社内小澤）▲經緯方へ空氣銃の事に付て伺ひますが之れは何時節にても用ゐる事が出來ませうか又鑑札は納めなくてもよいので御座いませうか御面倒ながら本欄まで御通知下さい（未知生）▲慶南務省とやらで海外渡航生を毎年定期募集致し居る樣ですが該規則書を得んとせば其申込先は何處なるや（エスエム生）▲右眼近視生とは同感なれず實際生の云はれる通りです僕は左眼近視生と名づけ共に大いに活動しませうどうですか小生に居られる住所を御通知あるかさ無ば小生宅まで御足勞下され度し大いに共に論じたいと思ふ（照內寺）▲自分は毎日日の出學校の白米販賣所に參る者ですが彼の狹き道路に毎朝時間迄何百人と云ふ人に傘をさゝせず巡査補が一二間位の竿を持て頭上を（此間不明）居る何さ云ふ始末ですか實に見兼てたまりません其上米を買求めることが出來ず毎日歸り居ります（一人の女）▲私設專用の水道を使つて居るものでありますが風呂を沸すときには餘分に二十錢出さなくてならないで宜敷非用を使ふ人はそれを用しませんざう云ふ譯でしようか安くて湯錢も出さないで大變とくです水道局へお尋ね致します（エスエッチ女）

○日墨定期航計畫

大阪商船にては從來南米航路は往航神戸、長崎、香港、新嘉坡、[illegible]

▲往航を延航しつゝありしが去る八月來神戸を解纜せる新船ばなまヽ丸（五千七百八十九噸）をして復航[illegible]

を定期に延長經營の計畫にて同船は目下ニューオルレアンスに碇泊中なるが同地國民は日墨間の通商に[illegible]世界的の動搖[illegible]

託すべく向は戰役の關係に就ては或は補助を附與しても可なりとて目信頼りなるより同社幹部は目下定期經營に就き研究中にて其の可否[illegible]

東洋製鐵株式會社は目下戸畑町に大工場新築中なるが同所に据付くべき機械一式輸入の用務を帶び[illegible]

リストル鐵工場の所在にて一日百五十噸

▲銑鐵を製産すべきものなるが[illegible]

し次便にて一切到着すべし最近米國の鐵鋼額減少等の説あるも我船鐵交換に依るものは最上級の鋼鐵[illegible]

材料の供給製品の搬出等諸條件の良好なる工場は十分の利益を得べきも規模小なるか若くは上記の條[illegible]

中止し居たりしに是は規模小なるか故にあらず公定價格に影響せられて損益勘定の合ざるが爲めなるべし[illegible]

◎聞くにサワラ漁は前月來引續き盛況を呈し例年ならば夏秋漁の中間にて一時魚群の來游を中絶する[illegible]

け本日四日の如きは一網況く四千居の水揚をなすの盛況を呈し主として下關に向け移送中にして同地の取引相場は一尾八九十錢より一[illegible]

Overland

三千五百圓

經濟を兼ねたる快樂

外觀　此オーヴアランド自動車は其曲線と仕上げに於て優美なるスタイルあり。

行動　能く信頼に耐ゆ。速力と持久力大。事故を生ぜず。

乘心地　道路善惡を問はず乘心良し。運轉自由自在也。

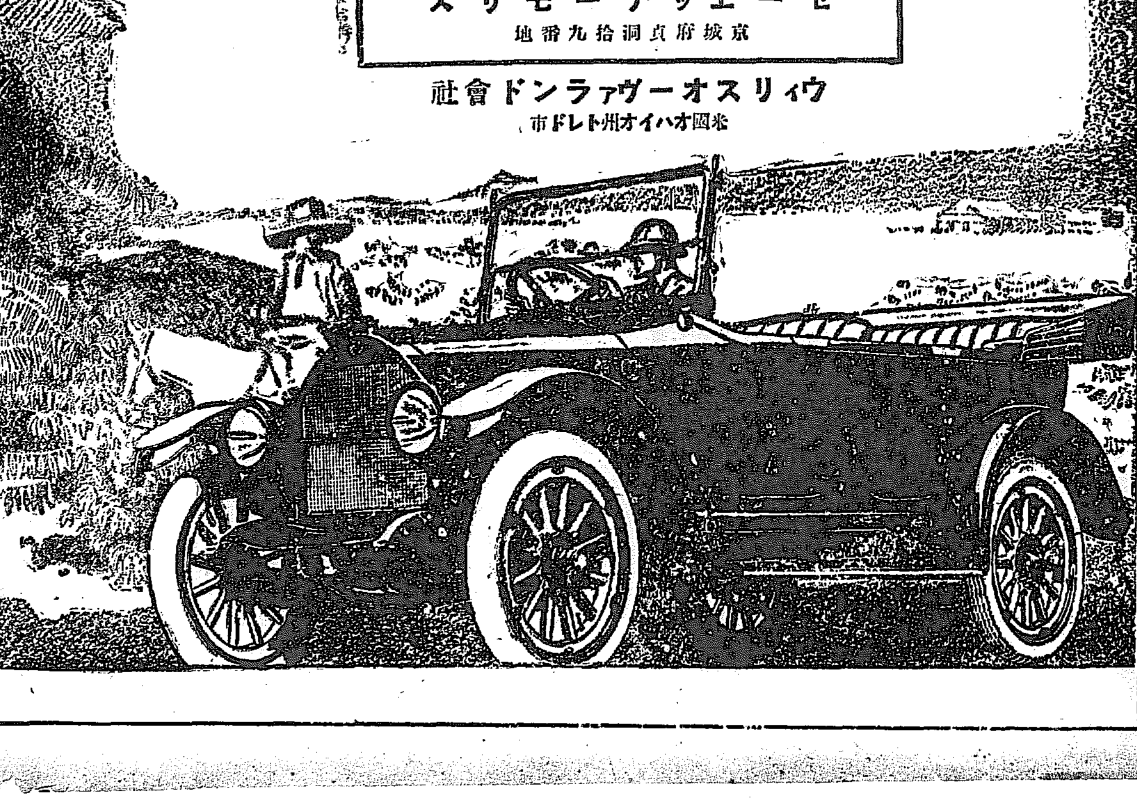
實用　自動車專門最大工場にて製造さるゝを以て其實用に適する事は充分に保證さる。

價格　購買、製造に最大規模の經濟を應用し居るを以て價格低廉にして而かも品質絶良也。斯の如く有利なる自動車は他に類を見ず。

試みにオーヴアランド製造自動車中の一臺を求められよ諸君は初めて納得さるゝ所あらん。

ゼーエッヂーモーリス
京城府貞洞拾九番地

ウィリスオーヴァーランド會社
米國オハイオ州トレド市



毎年是れから悪疫が流行する

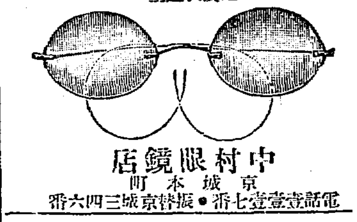
衛生口錠　カオール

悪い病に罹らぬ樣缺さず召し上れ

邪氣を拂ひ、惡氣を豫防し、精神爽快に、元氣を旺盛ならしむ

本舗　東京　安藤井筒堂
代理店　大阪　藤森源之助

定價表進呈



中村眼鏡店
京城本町
電話壹壹七番・振替京城三四六番

■賣るは、賣れるは飛ぶ樣に■
定價卅五錢の所五百部に限◆賣切れぬ内御買求めあれ
▲特價卅錢▼

八島柳堂著
古賀雄祐畫
教訓お伽噺
給入美本二百七十頁
定價卅五錢

■面白い……面白いお噺、悲しい……悲しいお噺
そうしてお爲になるのが此本の特長です……

▼取次販賣所　▲大阪屋號　▲巖松堂　▲日韓書房

發行所　京城日報社代理部
京城太平通（振替三〇〇）

◎當工場は毎日午前六時より午後七時まで溶解を繼續し居るを以て如何に迅速を要するものと雖即時鑄工に取掛り製造御渡し可申候

海陸諸器械土木建築
鑄物一式並ニ洗鐵
格別廉價販賣

京城龍山京町十一番地
中桐鑄工所
電話長五二四番

◎當工場は一日平均三噸の溶解を爲すを以て多數御注文と雖短期間に製造御渡し可申候

◎當工場製造品は常に賞賛を得來り候に付御實檢の上御唱導希上候